2013年9月30日発行

KGA GOLFER'S NEWS

NO.113
2013秋号
関東ゴルフ連盟

関東倶楽部対抗
優勝
東千葉
カントリークラブ

関東倶楽部対抗特集号

関東女子
倶楽部対抗
優勝
成田東
カントリークラブ

別冊付録 保存版

2013年度 関東倶楽部対抗
2013年度 関東女子倶楽部対抗

出場全倶楽部 競技成績

伝統を継承するため新システムで参加増に対応

塚原　今年度から関東倶楽部対抗に、５地区で開催のブロック大会が新設されました。従来ですと、各都県会場予選競技を勝ち抜けば、決勝競技に進出できました。ハードルが高くなったのではと、誤解される方もいそうですね？

竹田　関東倶楽部対抗は、日本で最大規模のアマチュアゴルフの団体競技です。加盟倶楽部の正会員であればどこでも参加できます。オリンピックにも共通するその全員参加の精神を継承する上で、ベストな解決策がブロック大会だったのです。

　毎年増え続ける参加倶楽部も、今年は３９３倶楽部（前年比２・３％増）に達しました。倶楽部を代表する出場選手は、延べ３５７７名に（前年比11％増）増えています。各都県の予選競技を増設することはできても、頂点の決勝競技となれば、ゴルフ場の収容人員には当然限界があります。ブロック大会の新設は伝統を維持する方策ではありますが、同時に同ブロック大会での覇権を競う、新たな挑戦の場の創設でもあります。

塚原　各倶楽部の、代表選手数を減らすという考え方もあります。これは77年におよぶ関東ゴルフ連盟の、創設（関東８倶楽部対抗）からして、受け入れられませんね。

竹田　参加選手を制限しては、競技の性格が変わってしまいます。さらに広く門戸を解放するということでは、ブロック大会を経ての決勝競技の開催倶楽部にも、36ホールの規模という制約がなくなります。

塚原　今後も参加倶楽部は増えると予想されますが、このブロック大会の新システムでの対応はいかがですか？

竹田　加盟５００倶楽部のうち、関東倶楽部対抗に出場する倶楽部は、80％の４００倶楽部に迫る隆盛です。もちろんブロック大会の新設で、対応も可能になりました。

塚原　シード制も初めて採用されましたが、その意義をお聞かせください。

竹田　チームワークで結ばれ、優れた成績を残した倶楽部を讃えるのがシード権です。いずれの倶楽部も予選から決勝まで３回出ることは負担が大きくなるので、決勝・ブロック大会のシード枠を20位までとしました。去年、シード枠に入り、本年度もシード枠を確保した倶楽部は10倶楽部です。また、今回予選から決勝まで進出した倶楽部は、13倶楽部（３・５％）でした。このことから、予選から決勝へ勝ち進んだ倶楽部は非常に少なく、この数であれば決勝進出は名誉なことであり、シード制を導入した目的も達成できたかと考えます。

　そして、倶楽部対抗は選手個々の技量の積み重ねの結果の団体競技で、関東の全倶楽部間の親睦を深めることに、最大の意義があります。

塚原　倶楽部と選手に望まれることは？

竹田　ひとりの力は倶楽部の力（ＯＮＥ　ＦＯＲ　ＡＬＬ）。倶楽部の力はゴルファーの楽しみに結びつきます。

塚原　今日はありがとうございました。

関東倶楽部対抗　ブロック大会新設の意義
「新しい挑戦の場の誕生です」

竹田 恆正
KGA理事長

塚原 裕
KGA常務理事
広報委員会委員長

撮影　塚越克一（KGA広報副委員長）

KGA GOLFER'S NEWS
NO.113
2013年9月30日発行
関東ゴルフ連盟
Kanto Golf Association

CONTENTS

関東倶楽部対抗特集号

1　関東倶楽部対抗　ブロック大会新設の意義
竹田恆正KGA理事長
塚原裕KGA常務理事（広報委員会委員長）

決勝競技
2　関東倶楽部対抗
（総武カントリークラブ 総武 東・中コース）

ブロック大会
6　第1ブロック大会（長岡カントリー倶楽部 東・西コース）
8　第2ブロック大会（諏訪湖カントリークラブ）
10　第3ブロック大会（戸塚カントリー倶楽部 西コース）
12　第4ブロック大会（宇都宮カンツリークラブ 北・中コース）
14　第5ブロック大会（筑波カントリークラブ）

予選競技
16　新潟第1会場（中条ゴルフ倶楽部）
18　新潟第2会場（新潟ゴルフ倶楽部）
20　長野会場（大浅間ゴルフクラブ）
22　山梨会場（甲斐駒カントリークラブ）
24　群馬第1会場（草津カントリークラブ）
26　群馬第2会場（高山ゴルフ倶楽部）
28　栃木第1会場
（矢板カントリークラブ ききょう・りんどうコース）
30　栃木第2会場（鶴カントリー倶楽部 中・西コース）
32　栃木第3会場（大日向カントリー倶楽部 東・西コース）
34　茨城第1会場（白帆カントリークラブ）
36　茨城第2会場（セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ）
38　埼玉第1会場（飯能グリーンカントリークラブ）
40　埼玉第2会場（日高カントリークラブ 東・西コース）
42　千葉第1会場（浜野ゴルフクラブ）
44　千葉第2会場（スカイウェイカントリークラブ）
46　千葉第3会場（中山カントリークラブ）
48　東京会場（GMG八王子ゴルフ場 南・東コース）
50　神奈川会場（チェックメイトカントリークラブ）
52　静岡会場（大熱海国際ゴルフクラブ 大仁コース）

決勝競技
54　関東女子倶楽部対抗
（大利根カントリークラブ 東コース）

予選競技
58　新潟会場（十日町カントリークラブ つつじ・信濃コース）
60　長野会場（長野カントリークラブ 飯綱・戸隠コース）
62　山梨会場（秋山カントリークラブ）
64　群馬会場（ベルエアカントリークラブ）
66　栃木会場（東松苑ゴルフ倶楽部）
68　茨城会場（富士カントリー笠間倶楽部 東・南コース）
70　埼玉会場（入間カントリークラブ）
72　千葉第1会場（千葉カントリークラブ 梅郷コース）
74　千葉第2会場（袖ヶ浦カンツリークラブ 新袖コース）
76　東京会場（府中カントリークラブ）
78　神奈川会場（平塚富士見カントリークラブ 平塚コース）
80　静岡会場（裾野カンツリー倶楽部）

82　トピックス
84　新規加盟倶楽部のご紹介
85　from KGA

保存版　別冊付録
2013年関東倶楽部対抗
2013年関東女子倶楽部対抗
出場全倶楽部　競技成績

決勝競技

総武カントリークラブ

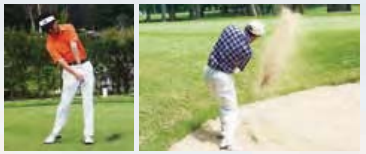
総武コース 東・中コース

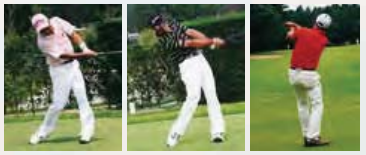
ブロック大会を圧勝した東千葉CCが決勝を制す！

快晴から雷鳴そして豪雨に「全員ホールアウトしよう！」の強い意志は最後まで……

8月6日の朝。関東倶楽部対抗決勝競技の開催された総武カントリークラブ・総武コースは、宇宙まで抜けそうな青空だった。5地区でのブロック大会を勝ち抜いた23倶楽部とシード3倶楽部の、計26本の倶楽部旗が微風に揺れていた。

絶好のゴルフ日和……のはずが、気象情報は早朝から不安定な天候への警戒を伝え、ニュースでは関東各地の雷とゲリラ豪雨の被害を報じる。ここに参集した倶楽部代表選手182人も関係者各位も、ただ競技の成立を願うばかり。





応援団の目の前で緊張のバンカーショット。結果は長いパットを沈めてパー。

7時に予定どおりに競技開始。1番ホール（東1番）からは富士チサンカントリークラブの強豪、小林祺一郎がティーオフした。

「いつもと変わらず、夜遅くまで飲みました。私のリズムです」（小林）

昨年度優勝の袖ヶ浦カンツリークラブのキャプテン、阪田哲男とすれ違う。9時15分のスタートだから、まだ1時間半以上もある。

「天候不順による競技中止は、考えてもいません。最終組の水上晃男のスコアが集計されて、逆転といったドラマをお見せしたいですね」（阪田）

7時54分スタートの豊島豊がやってきた。東千葉カントリークラブは一昨年に優勝、昨年は3位。足取りが軽やかなのは、この42日前に開催された第4ブロック大会で、チームメイトの上重修と室野歩と揃って、ベストスコア賞を獲得した好調さを維持しているのだろう。調子は？

「いつもと同じで

撮影／塚越克一（KGA広報副委員長）　足立寛（KGA広報委員会参与）

関東倶楽部対抗決勝競技

平成25年8月6日(火)参加倶楽部数26／出場選手 182名

優勝　東千葉カントリークラブ／147

2位　富士チサンカントリークラブ／148

3位　茨城ゴルフ倶楽部／149

4位　太田双葉カントリークラブ／149

5位　日本海カントリークラブ／149

競技方法の抜粋

- シードについて(1)前年度決勝上位20位の倶楽部及びブロック大会、決勝開催倶楽部は予選を免除する。(2)前年度決勝上位2位の倶楽部及び決勝開催倶楽部は予選とブロック大会を免除する。
- 倶楽部７名出場の場合／上位6名の合計スコアにより順位を決定する。
- 全選手終了出来なかった場合の対応／悪天候で選手全員が終了できなかった場合、競技委員会は次の措置をとる。AB各クラスの選手が全倶楽部とも1名ずつ終了している場合はその2名の合計スコアを成 績とする。

右から。競技開始の7時5分前は、まぶしいぐらいの朝日だった。9時30分に競技中断を告げる最初のサイレンが鳴った。5時17分、ゲリラ豪雨に襲われ55分に打ち切り。

かった。

確かに結果を見れば、早いスタートの豊島を有する東千葉CCと、トップスタートの小林の所属する富士チサンCC（昨年4位）が1位と2位に輝いた。

昨年は予選敗退だった茨城ゴルフ倶楽部も、今年は健闘してダントツで予選を突破。ブロック大会では東千葉CCと新千葉カントリー倶楽部の、両シード倶楽部に次いで、決勝競技進出を決めた。結果は3位の健闘だった。

雷雲の接近により3回の中断を余儀なくされ、無念にも5時55分に競技打ち切りが決定された。競技規定により、全出場倶楽部のAクラスとBクラスの各1名がホールアウトすれば、その2名の合計ストロークによって順位が決定される。

開催倶楽部、総武CCの代表選手の皆様。

日本海CCは全員バスで帰途に。「5時間半、車内宴会です」（幹事さん）。

DATA ●Aクラス6589yards•Par72／Bクラス6937yards•Par72

すよ。ベストを尽くすだけ」（豊島）

昨年度の優勝と準優勝の倶楽部（開催倶楽部も）はブロック大会をシードされて決勝競技に進出。この新制度について阪田は「ラクだろうですって？　その逆ですよ。予選競技からブロック大会とチームの調子を見て、決勝競技に進みたかった。シードが名誉であることは、大変ありがたいのですが」とは、東千葉CCを意識しての本音か。

その袖ヶ浦CCのエースの水上は、最終組の10時18分スタートの予定が、9時30分に雷雲接近で競技中断。1時間ほど遅れてティーイングラウンドにやってきた。

「今後の状況次第では、私のスコアはカウントされないでしょう。でも、やれることはやります！」（水上）

結果として水上の記録は残らなかったが、表彰式パーティーでは「絶好調だったんです！」と、悔しさを隠さな

第1ブロック大会

新潟・群馬

長岡カントリー倶楽部

東・西コース

初のブロック大会は新潟・群馬の強豪勢の熱戦

当倶楽部は新潟県中央に位置しています。冬は雪景色、夏は日本一の花火が打ちあがる長岡市は、海、山、米、おいしい地酒に恵まれた土地柄です。

本大会の使用コース（東・西）の設計者は名匠・上田治氏です。昭和41年オープン以来、本年で開場47周年を迎え、6月15日には雪国という過酷な条件のなか、開場以来の来場者数が200万人を突破いたしました。この記念すべき年に、今年度より初開催となる新潟・群馬のブロック大会を開催することは、大変栄誉なことです。

昨年から、今大会に向け従業員一同準備を進めてまいりましたが、オープン当初の低温続き、5月下旬から6月初旬まで記録的な日照り。6月中旬にやっと恵みの雨と思ったのも束の間、予想以上の大雨で今度はバンカーの砂が流される事態となりました。なんとかギリギリの状態でコース整備が間に合った大会当日は、文句のつけようのない素晴らしい天気となりました。

当日は朝6時半に開場すると、練習ラウンドの雰囲気とは違い、選手もビリッと引き締まった表情になっていました。どのチームも決勝競技常連の強豪チームで、スタートホールで見ていると、決勝進出への強い意志と緊張感が伝わってきました。

当倶楽部も開催コースの地の利を活かし、3年ぶりの決勝競技出場を目指しましたが、決勝進出にあと6打足りず、7位に健闘という結果になりました。どのチームも芝目の効いた速いグリーンに苦戦し、上位7位までが9ストローク差という大激戦でした。

大きな遅れもなく16時10分に全組がホールアウトし、事故もトラブルもなくスムーズにすべて終了することができました。これもひとえに、大会に関わっていただいたすべての皆様の、多大なるご指導とご協力の賜物と深く感謝しております。本当にありがとうございました。（長岡カントリー倶楽部 支配人・今井嘉一）

開催倶楽部、長岡CCの代表選手と関係者の皆様。

海、山、米、銘酒の郷に
名匠•上田治氏設計の
名コースあり。

DATA ●Aクラス6608yards・Par72／Bクラス6907yards・Par72●グリーンの刈り高3.2ミリ・速さ10.5フィート・硬さ10・ラフ50ミリ・フェアウェイ15ミリ・ファースト カット30ミリ●天候快晴・平均気温22.7度（最高28.2度／最低17.7度）・平均風速1.9m/s

左から。長岡CC代表選手の五十嵐君、高頭運営委員、吉田長岡CC競技委員長、三寺運営委員、竹澤運営委員、安井長岡CC競技委員、1番ホールのギャラリーと運営委員の皆様。

インコース第1組目のスタート。

斎藤大会会長。

高頭長岡CC理事長。

Green Keeper

2日前のゲリラ豪雨は芝には恵みの雨？

長岡CC・永村卓志グリーンキーパー

5月の低温と6月の少雨で、ティーインググラウンドとフェアウェイの、コーライ芝の成長不良に大変苦労しました。また大会開催2日前の早朝には、1時間に30ミリを超える豪雨となり、バンカー法面の砂が流れる事態となりました。コース整備不良を心配しましたが、支配人をはじめ全社員の協力で、ベストコンディションにすることができました。競技後も感謝の気持ちを忘れず、コース整備に汗を流します。

決勝進出倶楽部

平成25年6月24日（月）参加倶楽部18／通過倶楽部4

1位　下田城カントリー倶楽部／483

2位　日本海カントリークラブ／486

3位　草津カントリークラブ／486

4位　太田双葉カントリークラブ／487

ベストスコア賞

左から。Aクラスの新井佳泉君（グリーンパーク）、金井正善君（太田双葉）。Bクラスの松本重光君（フォレスト）、吉田聡君（下田城）。

第2ブロック大会

長野・山梨・静岡

諏訪湖カントリークラブ

開場50周年に華を添えてトップで決勝進出

開場50周年の本年、関東倶楽部対抗ブロック大会が新設され、図らずも第2ブロック大会の会場を仰せつかりました。

長野・山梨・静岡の各県予選を勝ち抜いた倶楽部と、シード倶楽部を含む17倶楽部を迎え、緊迫した独特の雰囲気のなか、梅雨空にも負けない熱戦の火ぶたが切られました。

選手は倶楽部の代表として重いプレッシャーに耐えながらも、多数ご来場いただいた関係倶楽部応援団の声援に、はつらつとしたプレーで応えていました。

競技結果は、開催倶楽部であります諏訪湖カントリークラブが地の利を活かし、1位の栄誉にあずかり、50周年の節目に華を添えることができました。長野県内では塩嶺カントリークラブが2位、3位に山梨の甲斐駒カントリークラブ、4位に静岡の富士チサンカントリークラブが入賞され、決勝進出を果たしました。

第2ブロック大会開催倶楽部の利で県予選免除での出場で、1位通過をさせていただきましたので、決勝競技での活躍は自ずから義務づけられた重い使命と感じております。決勝競技へ進む他の上位3倶楽部とともに、3県の代表として8月の暑さに負けず、恥じない成績を残せるよう健闘したいと存じます。

梅雨の季節でしたがお陰さまで天候に恵まれ、スムーズに運営できました。特に関東ゴルフ連盟競技委員、運営委員の皆様には、事前のコース下見から始まり、的確なご指導とご指示を賜りました。深く感謝申し上げます。第2ブロック大会が無事終了できましたことに、心より御礼申し上げます。（諏訪湖カントリークラブ支配人・川上裕市）

最終ホールでパーパットを決めて、諏訪湖CC応援団と喜ぶ茅野弘喜君。

標高1100メートルの
大森林コースは
グリーンの読みが難解

諏訪湖CC関係者の皆様。

Green Keeper

芝の境界やバンカー曲線のトリミングを美しく整備

諏訪湖CC・遠山和秀グリーンキーパー

開場50年の歴史あるコースですから、周囲の景観に馴染むよう、特にコース内の自然を大切にしています。日頃の基本的な管理を守り、松食い虫などの被害はありません。今回の競技でも特別な設定はしていませんが、選手の皆様に納得していただける整備はできたと思います。
（遠山キーパーは地下足袋。「芝や地面を、敏感に感じたくて」とのこと）

宮坂大会会長。

諏訪湖CC選手代表の呉本公太君。

決勝進出倶楽部

平成25年6月24日(月)参加倶楽部数17／通過倶楽部数4

1位　諏訪湖カントリークラブ／467

2位　塩嶺カントリークラブ／472

3位　甲斐駒カントリークラブ／475

4位　富士チサンカントリークラブ／476

ベストスコア賞

左から。Aクラスの 丹野富壽君（伊豆にらやま）、Bクラスの 坂本英起君（甲斐駒）。

晴れのち曇り・気温20.1度

DATA ●Aクラス6438yards・Par72／ Bクラス6588yards・Par72●グリーンの刈り高3.4ミリ・速さ10.5フィート・ティー9ミリ・フェアウェイ18ミリ・ラフ50ミリ●天候

第3ブロック大会

埼玉・東京・神奈川

戸塚カントリー倶楽部 西コース

最終組の結果で5番目枠に戸塚CCが滑り込み

関東倶楽部対抗ブロック大会は、今年度から新規に導入された大会であり、当倶楽部は第3ブロック大会をお引き受けしました。埼玉県・東京都・神奈川県の3地区予選を勝ち抜いた17倶楽部と、昨年度決勝競技での成績によりシード権を獲得した3倶楽部、および開催倶楽部の当戸塚カントリー倶楽部の、合計21倶楽部によって、決勝進出枠「5」を競い合うこととなりました。

梅雨の時期ということで、大会当日の天候は、本大会をお引き受けしたときから憂慮しておりました。土・日と好天が続き、当日は未明から早朝にかけて曇天ではありましたが、選手がスタートする午前8時頃には晴れ間も垣間見ることができ、午後からは気温もぐんぐん上昇し、最高気温は20度を記録し、真夏のような陽気となりました。

コースコンディションは前日、前々日と降雨がなかったため、グリーンの速さ・硬さを大会にふさわしい状態に仕上げることができ、刈り高3・2ミリ、速さ12フィート、硬さ11とベストコンディションで、本大会出場選手を迎えることができました。しかし前週の指定練習日の週は、雨天に祟られたためグリーンの速さがあまり出ず、各選手は指定練習日とは違う速さにいささか戸惑っていた様子で、グリーン上が慎重になるため、プレー進行に若干影響が出てしまいました。

予選とはひと味違った各地区を勝ち抜いてきた選手同士の緊張感、決勝競技への意気込みが観戦・応援する側にも伝わってきました。最後の選手がホールアウトするまで、どの倶楽部が決勝進出を果たすのか、混沌とした状況の末、最終組の選手のスコアにより、最後の5番目の枠に当戸塚カントリー倶楽部が滑り込むことができました。

好天に恵まれ、朝早くから大勢の応援団の方々が来場され、ホールアウトする選手のスコアに一喜一憂される姿は、倶楽部対抗ならではの光景でした。

日も暮れかけた表彰式では、廣幡大会会長より全選手・各倶楽部関係者の皆様へのねぎらいと、決勝進出倶楽部のご健闘を祈年する言葉が述べられました。

（戸塚カントリー倶楽部総支配人・的場　崇）

相模と武蔵の国境（くにざかい）にある
井上誠一氏設計の
傑作コース。

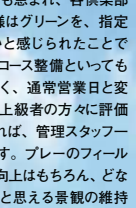
大健闘の末、見事決勝進出を果たした戸塚CCの選手各位。

Green Keeper

日頃のコース管理に万全を期せば全体の景観も美しくなります

戸塚CC・熊本康宏グリーンキーパー

競技当日は天候にも恵まれ、各倶楽部の代表選手の皆様はグリーンを、指定練習日よりも速いと感じられたことでしょう。競技用のコース整備といっても特別なことではなく、通常営業日と変わりません。ただ上級者の方々に評価していただくとなれば、管理スタッフ一同気合いが入ります。プレーのフィールドとしての品質の向上はもちろん、どなたが見ても美しいと思える景観の維持を心がけています。３年半前から倶楽部の会報（年４回発行）に「コース管理とは？」をテーマに、連載の執筆をしております。舞台裏での日頃の私たちの活動を、ご理解いただければ幸いです。



磯子CCは団扇で応援。

ベストスコア賞

左から。Aクラスの内野秀治君（武蔵）、Bクラスの和田博君（東京五日市）。

開催倶楽部全員でお見送り。

左から。戸塚CCの俣木理事長。松本副理事長、廣幡大会会長。

決勝進出倶楽部

平成25年6月24日(月)参加倶楽部数21／通過倶楽部数5

1位　大厚木カントリークラブ／468

2位　嵐山カントリークラブ／470

3位　東京五日市カントリー倶楽部／477

4位　武蔵カントリークラブ／479

5位　戸塚カントリー倶楽部／480

DATA ●Aクラス 6572yards・Par72 ／Bクラス 6958yards・Par72

第4ブロック大会

栃木第1・3
茨城第1
千葉第1

宇都宮カンツリークラブ

北・中コース

全スタッフと設備を活用し誠意を持って対応

「選手が主役」、前ＫＧＡ競技委員長の内藤正幸氏が、当倶楽部で開催した平成23年度の関東シニア決勝競技の際、話していた言葉を思い出しました。

今回の関東倶楽部対抗第４ブロック大会は、本年度から採用されることになりました。予選を勝ち抜いた倶楽部と、昨年の決勝競技でシードされた強豪倶楽部ばかり。栃木・茨城・千葉の３県合わせて24倶楽部が決勝進出の５つの枠を競い、熱戦を繰り広げることになりました。

開催が正式決定してからは、コースの整備はもとより、キャディーの確保、駐車場の問題、ギャラリー席（各倶楽部の応援席）の場所など、各倶楽部の主役と応援団を迎えるにあたり、多くのことが頭をよぎりました。

その結果、辿り着いたのは当倶楽部の特長・良さを最大限に活かし、クラブハウス内の場所・設備・スタッフともども余すことなくすべてを使い、ありのままの姿で倶楽部の良さをアピールし、誠意を持って対応する。それで良いのではないか、との思いでした。

当日は早朝より各倶楽部の選手・応援団が続々と訪れ、想定していたとおり、倶楽部対抗ならではの賑わいとなりました。心配された天気はまずまずでしたが、直前の10日間は雨が多く、グリーンスピードも思うように出せず、選手の期待を裏切ることになったかも知れません。また前日の降雨のためバンカー内の水が引かず、鈴木競技担当委員長をはじめ、委員の皆様にはご心配をかけてしまいました。

成績結果は予想どおり、千葉県勢２倶楽部の圧倒的な強さが光り、次に茨城の２倶楽部が続いて、栃木では唯一の芳賀カントリークラブが決勝進出を決めました。芳賀カントリークラブの皆様には栃木県代表として、決勝競技での活躍を祈念するところであります。

このレポートを書きながら、無事終了したことに安堵するとともに、不手際があったことを反省しつつ、次はもっと上手にやろうとの思いが湧いてきます。今回、当倶楽部は僅差で決勝進出を逃しましたが、また次回、主役である皆様にお会いすることを、楽しみに待ちたいと思います。（宇都宮カンツリークラブ支配人・福田忠幸）

クラブハウス２階に足場用パイプで、ギャラリースタンドが特設された。

開催倶楽部、宇都宮CCの代表選手と関係者の皆様。

ベストスコア賞

左から。Aクラスの上重修君(東千葉)、桜井延秋君(新千葉)、室野歩君(東千葉)。Bクラスの豊島豊君 (東千葉)。

ホールインワン

14番 ホール（中5番 220Y）で本島博久君（皆川城）がホールインワンを達成。

森田宇都宮CC キャプテン。

荒井宇都宮CC 社長。

篠崎大会会長。

外来種を排し
日本固有種の樹林は
枝ぶりが見事！

無事終了しロビーでお見送り。

決勝進出倶楽部

平成25年 6月25日(火)参加倶楽部数24／通過倶楽部数5

1位 東千葉カントリークラブ／440

2位 新千葉カントリー倶楽部／447

3位 茨城ゴルフ倶楽部／454

4位 カントリークラブ・ザ・レイクス／457

5位 芳賀カントリークラブ／458

DATA ●Aクラス6324yards・Par72／Bクラス6597yards・Par72

第5ブロック大会

栃木第2
茨城第2
千葉第2・3

筑波カントリークラブ

決勝競技進出を目指しハイレベルな接戦が展開

筑波山を望む
フラットな林間コースは
林とバンカーが恐いハザードに

筑波CC（左）と土浦CC（右）の応援団の皆様。

開催倶楽部。筑波CCの代表選手と関係者の皆様。

筑波CCの谷口社長。

食堂スタッフも大会をバックアップ。

当倶楽部は今年度より予選競技と決勝競技の間に新設された、ブロック大会の会場となりました。平成23年度茨城第1ブロック予選の開催以来、2年ぶり4回目の倶楽部対抗開催となりました。

大会当日は雨が心配されましたが、なんとか曇り空のもと、正午の気温23度、午後は陽が射すますますのコンディションで、コースセッティングもグリーンの刈り高3・2ミリ、速さ10・7フィート、硬さ23、ラフの刈り高70ミリと、こちらも良いコンディションで開催することができました。

午前7時30分、団体戦の独特な緊張感のなか、第1組がスタートして行きました。ハーフ終了時点で、好スコアがあちらこちらから聞こえ、当倶楽部の選手もますますの成績でした。

午後になり、選手たちがホールアウトし始めて間もなく「アウト33、イン33、トータル66」という好スコアがボードに書かれた瞬間、ボード周辺からは歓声が沸きました。

そして午後5時30分、すべての選手がホールアウトし、スコアボードに書かれたスコアを見ると「66、70、71、73……」と、参加選手の半数以上が70台。さすが予選を勝ちあがってきた倶楽部の代表選手は違います。

結果は接戦の末、水戸・ゴルフ・クラブが優勝し、ブロック大会通過ライン上には、2打差に4チームが入る大接戦でした。当倶楽部は残念ながら、決勝に進出することはできませんでしたが、決勝進出を決めた5倶楽部様には、決勝競技でのご健闘をお祈り致します。

最後になりましたが、本大会の開催にあたり関東ゴルフ連盟様のご指導、また参加倶楽部の皆様のご協力に、厚く御礼申し上げます。

（筑波カントリークラブ　フロントマネージャー・森田邦夫）

ベストスコア賞

左から。Aクラス 斎藤広巳君（大利根）、Bクラス 木村利治君（水戸グリーン）。

Green Keeper

上級者も初心者も満足できるコースコンディションづくりを心掛けています

筑波CC・木村　聡グリーンキーパー

各倶楽部を代表する選手の皆様が、日頃の練習の成果を発揮できるよう、コーススタッフ一同、この日のために全力で準備してきました。努力の甲斐あってか、大会当日のコースコンディションは、申し分のない状態にセッティングできました。フェアウェイ、ラフ、ファーストカットの境界線も美しく見せるために、春先からフェアウェイのレイアウトを変更し、こまめな刈り込み作業を行い大会に臨みました。

決勝進出倶楽部

平成25年6月24日(月)参加倶楽部数25／通過倶楽部数5

1位　水戸・ゴルフ・クラブ／458

2位　水戸グリーンカントリークラブ／460

3位　富士カントリー笠間倶楽部／463

4位　大利根カントリークラブ／463

5位　土浦カントリー倶楽部／464

DATA ●Aクラス6580yards・Par72／Bクラス6891yards・Par72●グリーンの刈り高3.2ミリ・速さ10.7フィート・硬さ23・ラフの刈り高70ミリ

新潟
第1会場
予選

第1ブロック大会

中条ゴルフ倶楽部

あわや競技中断か？全員の熱気で小雨に回復

関東倶楽部対抗新潟第1会場予選が、当倶楽部におきまして参加17倶楽部で行われました。運営に関しましてはKGA競技委員のご指導のもと、グリーンキーパーを中心に倶楽部一丸となり、コース整備に努めてまいりました。

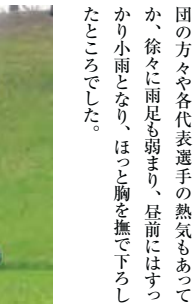
競技当日の朝は7時すぎより降り出した雨が次第に強まり、グリーンに水が浮き出すなど、あわや競技中断か？と心配されるほどでした。しかし応援団の方々や各代表選手の熱気もあってか、徐々に雨足も弱まり、昼前にはすっかり小雨となり、ほっと胸を撫で下ろしたところでした。

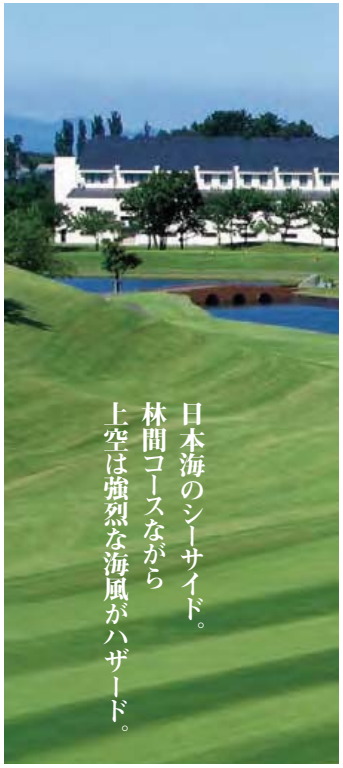
競技においてはこの悪条件も重なり、70台でプレーができた選手が、実に5名のみということで、いかに競技が厳しい条件で行われたかということが、うかがい知れるものと思います。

当倶楽部の選手も悲願の決勝進出に向けて一致団結し、この競技に臨んでまいりましたが、善戦かなわず予選通過に2打およばず、5位という成績に終わりました。しかしながらこの競技を通じて、選手の絆もより一層深まり、今後の活躍が期待される競技となりました。

最後となりますが、本競技開催にあたり、多大なるご協力を頂いたKGA競技委員の皆様をはじめ、関係各社の皆様、そして真剣なプレーで熱戦を戦い抜いた選手の皆様、ボランティアでご協力いただいた当倶楽部の競技委員の皆様、また熱い応援をして下さった中条ゴルフ倶楽部の会員の皆様に、心より御礼申し上げます。

（中条ゴルフ倶楽部支配人・馬場敏郎）





Green Keeper

広大な敷地に
ゆったりと展開
整備は撒水を計画的に

中条GC・小泉隆信
グリーンキーパー

日本海のシーサイドに展開するフラットなコースです。砂丘の地盤は芝の育成に適していますが、撒水が欠かせません。この競技に向けて万全のコンディションを保っていたのですが、当日の強い降雨は計算外でした。グリーンは平均1000平方メートルと広く、傾斜や2段状もありますので、端にオンしたら3パットを覚悟でしょう。グリーンだけでなくフェアウェイ、ラフ、ティー、バンカーも広く大きいのが特長です。パッティンググリーンからは9、16、17、18番ホールが一望できる、雄大なロケーションが自慢です。秋の強烈な海風をお楽しみに。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月30日（木）参加倶楽部数17／通過倶楽部数4

1位　石地シーサイドカントリークラブ／495

2位　小千谷カントリークラブ／512

3位　フォレストカントリー倶楽部／519

4位　松ヶ峯カントリー倶楽部／519

上段左から。中条GCの代表選手。本間義和君、平山昭治君、源川勝彦君、岸文夫君、渡邉伸君。下段左から。藤川圭次郎君、津野樹志君。

左から。中条GCの佐藤副理事長、齋藤大会会長。

三宮競技委員長と大会役員の皆様。

DATA ●Aクラス6601yards・Par72／Bクラス7016yards・Par72

新潟
第2会場
予選

第1ブロック大会

新潟ゴルフ倶楽部

快晴微風の気温29度ながら競技はデッドヒート

越後平野と越後三山の絶景。
55年を経た赤松林は
重厚感に溢れる。

本年10月に開場55周年を迎える記念すべき年に、当倶楽部において関東倶楽部対抗新潟第2会場予選が、16倶楽部のご参加をいただき、平成12年以来13年ぶりに開催されました。

前年に開催が決定して以来、選手、関係者の皆様にご満足いただけるよう、準備に取り組んでまいりました。

春5月の開催ということで、コースの一部改修部分や、芝の養生状態がどうなるかなど、コースコンディション面で心配しておりました。今年は冬場が少雪であったことから、グリーンキーパーをはじめとする管理部スタッフが、早い時期から取り組みました。その頑張りで、大変良い状態で選手の皆様を迎えることができました。

競技当日は朝から快晴・微風の好天に恵まれましたが、気温が29度まで上がり、少し暑いくらいの状態になりました。

選手の皆様も、朝の来場時はリラックスした表情でしたが、スタート時間が近づくにつれ、緊張感に包まれていく様子が伝わってきました。そしてスタートホールでは、大勢の応援団とギャラリーの皆様の見守るなか、ナイスショットの声援を背に勇躍スタートして行きました。

ホールアウト後の成績が、スコアボードに記入されるたびに歓声があがり、まさにこれが倶楽部対抗戦だという雰囲気でありました。

競技は無事終了し、戦いを終えた選手の皆様は、安堵感いっぱいの表情でした。表彰式会場では和気あいあいと、他倶楽部の選手たちと過ごすなか、無事表彰式も終了しました。

関東ゴルフ連盟競技委員の皆様の、打ち合せから競技終了までのご指導と運営に対して、深く敬意と御礼を申し上げます。そして競技を支えていただきました、すべての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（新潟ゴルフ倶楽部取締役支配人・小川春文）

9番ホールに大勢のギャラリー。

風になびく倶楽部旗。

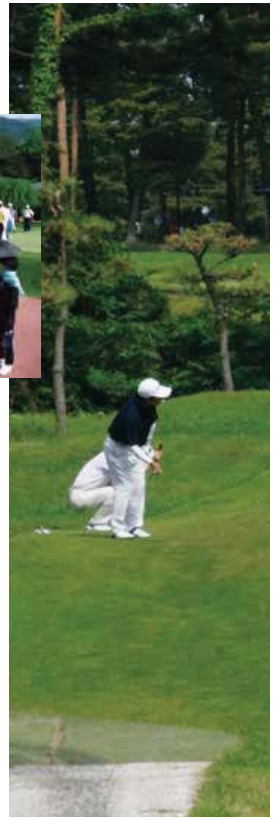
バイキング料理を楽しむ選手各位。

挨拶をする齋藤大会会長。

スタート前選手と歓談する関係者。

スタート前のパッティング練習。

スタートする選手を見守る応援団。



DATA ●Aクラス6340yards・Par72／Bクラス6555yards・Par72●天候快晴・微風・気温29度

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月28日（火）参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

1位　日本海カントリークラブ／470

2位　下田城カントリー倶楽部／477

3位　十日町カントリークラブ／480

4位　新発田城カントリー倶楽部／481

開催倶楽部、新潟GCの代表選手と関係者各位。

長野
会場予選
第2ブロック大会

大浅間ゴルフクラブ

青空に浅間山を望んで爽快に半袖プレーの競演

当日は早朝から8キロ北方に位置する、海抜2568メートルの浅間山がくっきりと見えるなか、快晴微風、半袖プレーに絶好の気象条件となりました。

本年5月19日に開場満50周年を迎えた当倶楽部では、今競技を50周年記念事業の一環ととらえ、スタッフ一丸となってコースコンディションづくり、受け入れ準備を進めてまいりました。まずは快晴の空に「ありがとう」の言葉が浮かびました。

指定練習日に熱心に通われた選手の皆様も、今日は心なしか緊張気味に、スタートされて行かれました。

競技は接戦の様相を呈し、1位と2位のチームは1ストローク差。一方でブロック大会への出場権をかけた、5位争いのチームは同ストローク。思わず競技規定を見やって、タイスコアの場合の決定方法を、確認される応援団の皆様も見受けられました。

加えてAクラス、Bクラスのベストスコア賞はそれぞれ1アンダーを記録され、さらに7番パー5ホールでは、エースを達成された選手もおられるなど、話題も豊富な競技となりました。

広葉樹の大樹林に広々したフェアウェイ。

白樺と松林がアクセントに。

左から。大浅間GCの椎名常務理事と手塚理事。

大浅間GCの競技委員各位。

宮坂大会会長。

競技運営につきましては、宮坂大会会長、藤堂競技担当委員長をはじめ、競技委員、運営委員の皆様の、的確なご指導に深謝申し上げるとともに、不慣れな開催コース事務局をお導きいただいた、KGAの皆様に感謝申し上げます。

78年を超える歴史の関東ゴルフ連盟様のもと、51年目に向けて歩み始めた当倶楽部も、ゴルフ界発展のため努力申し上げることをお誓いし、レポートを終わります。

（大浅間ゴルフクラブ支配人・池田直幸）

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月24日（金）参加倶楽部数25／通過倶楽部数5

1位　豊科カントリー倶楽部／463

2位　上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部／464

3位　塩嶺カントリークラブ／468

4位　三井の森蓼科ゴルフ倶楽部／475

5位　大浅間ゴルフクラブ／481

DATA ●Aクラス6451yards・Par72／Bクラス6607yards・Par72

山梨
会場予選

第2ブロック大会

甲斐駒カントリークラブ

雨の予報が当日は強風でグリーンの変化に面白味

毎年参加している関東倶楽部対抗が当倶楽部で開催されることに、競技担当者・コース担当者ともに楽しみでもあり、不安でもありました。

理由は雨です。今年は準備期間が記録的な少雨で、芝生の育ちが例年より遅く、本当にグリーンキーパーを悩ませました。

競技の1週間ぐらい前から、少しずつ雨が降り、皆で胸をなで下ろしたものですが、さすがに当日の雨は困ると思っていたところ、前日の予報で当日の朝方が雨予報……。2、3時間ごとに予報をチェックしながら、晴れますようにと祈りました。

祈りが通じたのか、早朝に降った雨が受け付け開始時間には晴れて、ホッとしたのも束の間、今度は強風が吹き始め、選手の皆様やテントなどの設備への影響を心配しました。

選手の方々の表情は皆、普段とは違う面持ちでしたが、それは「さあ、本番！」という気合いの強さの表れ。選手ごとに声を掛け合い、まさにチーム戦にふさわしい朝の雰囲気でした。

前半のプレーが終ってもまだ風は強く、戻ってきた当倶楽部の選手からは「グリーンのスピードが、いつもと違う」「時間ごとで違う」という声が聞こえてきます。早朝の雨で湿ったグリーンが、強風が吹くごとに一気に乾燥し始め、それが影響しているようです。

18ホールのプレーを終え、スコアボードに数字が記入されるたびに起こるざわめき。倶楽部対抗ならではの光景ですが、チームと応援団がひとつになって、一喜一憂する姿を嬉しく感じる瞬間です。加えて今年は、開催倶楽部としての期待と緊張も走ります。

1位のオリムピックカントリークラブ、2位の昇仙峡カントリークラブは、ともにトータル「479」のスコア。どちらもAクラスのベテラン選手の活躍が光ります。

当倶楽部は4位で、今年から新たに設けられた、ブロック大会への進出が決まりました。

昨年も出場した決勝競技に出られるよう、ブロック大会での活躍を期待するとともに、開催倶楽部として全力を尽くして下さった選手の方々を、誇りに思う一日でした。

（甲斐駒カントリークラブ支配人・篠原芳英）

ギャラリーの交歓は倶楽部対抗の風物誌。

朝の受け付け業務はスタッフ総出。

フェアウェイの刈り高18ミリ・ラフの刈り高40ミリ ● 天候晴れ

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月23日（木）参加倶楽部数17／通過倶楽部数4

1位 オリムピックカントリークラブ／479

2位 昇仙峡カントリークラブ／479

3位 秋山カントリークラブ／486

4位 甲斐駒カントリークラブ／486

受け付けからスタートまで、緊張が続く。

駒ヶ岳の大森林と池。
フェアウェイは広いが
各ホールは戦略型。

大接戦にスコアボードの前は終日人だかり。

DATA ● Aクラス6452yards・Par72／Bクラス6804yards・Par72 ● グリーンの刈り高3.75ミリ（シングルカット）・速さ9フィート（スティンプメーター）ティの刈り高10ミリ・

群馬
第1会場
予選

第1ブロック大会

草津カントリークラブ

千メートルの高原の遅い春に全員でコース整備

涼しい朝の気持ちの良い天気に恵まれ、各倶楽部の応援のなかで、各選手がスタートして行きました。

インコースのほうが比較的狭く、グリーンのアンジュレーションもあり、全体的に遅れがありましたが、9分間隔の流れのなか、比較的スムーズな進行でした。

草津カントリークラブの立地条件としては、標高1000㍍の高地に位置します。4月に入り雪解けが始まり、芝の生育が遅れ5月の競技にはベストコンディションとは言えませんでしたが、従業員一丸となりコースの改修およびメンテナンスをし、競技に備えてまいりました。

3年前には当倶楽部にて、第1回関東女子倶楽部対抗群馬ブロック会場予選競技が開催されました。

男子倶楽部対抗に関しましては、数十年ぶりの開催となります。地元チームとしては倶楽部を上げて応援し、昨年の倍以上の練習をして当日を迎え、各選手緊張のなかでスタートをして行きました。

6年前に東千葉カントリー倶楽部において開催された、決勝競技に参加して以来の予選通過。また常連の赤城国際カントリークラブに1打差をつけての1位通過を果たし、今年度から始まりましたブロック大会に、進出することができました。ブロック大会および決勝競技に向け、倶楽部を上げて応援したいと思います。

最後になりましたが各ゴルフ倶楽部の発展と、倶楽部会員相互の親善親睦を願い、競技が成功裡に終了しましたことを、関係各位に感謝申し上げまして競技報告と致します。

（草津カントリークラブ営業部長・小澤圭樹）

ティーショットごとに応援団から大拍手が。

開放的なドライビングレンジ。

18番グリーンの攻防。

お見送りをする草津CCチーム。

左から。草津CCの萩原理事長、草津CCの山中キャプテン。

Green Keeper

不順な気候にも関わらず
スタッフの努力でコース整備

草津CC・浅香 守グリーンキーパー

高原特有の気候は、住むのにも芝生にも理想の地でしょう。冬の寒さには慣れていますが、最近は夏に暑い日もあります。今年は4月中旬に珍しく雪が降りましたが、競技は支障なく整備できて安心しました。ベント芝の発色にも気を配り、結果には満足しています。

コースは元白根山や浅間山を望む絶景。なだらかな地形のままに改造はせず、落ち着いたリゾート風です。

快晴のパッティンググリーンで練習。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月24日（金）参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

1位 草津カントリークラブ／470

2位 赤城国際カントリークラブ／471

3位 グリーンパークカントリークラブ／484

4位 伊香保カントリークラブ／486

DATA ●Aクラス6485yards・Par72／Bクラス6632yards・Par72 ●グリーン／9.5フィート、コンパクション10 ●天候晴れ・気温24度・微風

群馬第2会場予選

第1ブロック大会

高山ゴルフ倶楽部

度重なる気象悪条件を克服し当日は快晴微風に

本年、当倶楽部は開場25周年の節目の年を迎えました。その記念すべき年に関東倶楽部対抗群馬第2会場予選に選ばれ、25周年事業の一環として、倶楽部・会社ともに一丸となり、準備に取り組んでまいりました。

幸いにも姉妹コース、赤城ゴルフ倶楽部で同予選を昨年開催し、運営などに当倶楽部のスタッフも携りましたので、順調に準備を進めることができました。

スタートを見送るチームメイト。

競技に備え、芝の状態の悪い部分には播種・張り替えを行い、4月中旬には芝も回復して良好な状態になりましたが、下旬になると寒暖の差が激しく、雨が降らない日が続きました。またこの時期には珍しく、雪まで降りました。

以後、強風が吹き荒れ、乾燥でコース・グリーンともに弱りはじめ、撒水を繰り返しながら、コースコンディションの保持に努めました。

5月に入り気温も上昇してきましたが、雨は降らず同じ作業の繰り返しで競技を迎えました。一番気苦労が多かったのはグリーンキーパーをはじめ、コース管理のスタッフだったと思います。

当日は快晴微風と絶好のゴルフコンディションのなか、スタートしました。

朝のお迎え。

豪快な打ち下ろしからスタート。
第2打以降はルートが絞られ
攻略は容易ではない。

開催倶楽部・高山GCの代表選手と関係者各位。

コースコンディションは、満足の行く状態を提供することはできませんでしたが、グリーンのコンパクションは硬めで、選手の皆様は苦労されたようです。

緊張のなか、いよいよスタート。選手名のコールとともに大きな歓声と拍手。倶楽部と選手がひとつになり競技開始。

我が高山チームは地の利を活かし「長岡カントリー倶楽部に行こう!」を合言葉に予選通過を目指し、日々練習を重ねて競技に臨みました。しかしホスト倶楽部のプレッシャーからか、わずかに健闘およばず5位と、三国連峰を越えることができませんでした。

しかし当倶楽部の諸田右千人選手がAクラスのベストスコア賞に輝き、選手・関係者一同喜びに堪えませんでした。とはいえ地元開催が無事終了し、各倶楽部の選手をお見送りする姿には、悔しさのなかにも安堵の表情が見られました。

ブロック代表に選ばれた各倶楽部の選手の皆様方にエールを送り、最後、競技委員長に掛けて頂いた労い(ねぎら)の言葉に、肩の荷が下りた感がしました。

(高山ゴルフ倶楽部支配人・鈴木孝二)

貫井大会会長。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月21日(火)参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

1位 クリスタルカントリークラブ／456

2位 藤岡ゴルフクラブ／463

3位 赤城ゴルフ倶楽部／463

4位 初穂カントリークラブ／467

ベストスコア賞

左から。Aクラスの篠原寿君(伊香保国際)、諸田右千人君(高山)。Bクラスの福富祥倫君(クリスタル)、飯塚裕一君(藤岡)。

DATA ●Aクラス6523yards・Par72／Bクラス6815yards・Par72

栃木第1会場予選

第4ブロック大会

矢板カントリークラブ

きょう・りんどうコース

レースなら写真判定の僅差で最後まで大接戦

当倶楽部は今年10月で、開場40周年を迎えます。40周年を迎える記念の年に、関東倶楽部対抗栃木第1会場予選に決まり、会員・従業員一丸となり、各倶楽部代表選手の皆様を、最高のコンディションとおもてなしで、お迎えしようと準備してまいりました。

3月初旬は暖かい日が続き、芝の成長も例年より早いかなと思っていましたが、3月下旬に冬に逆戻り。さらに当初予定しておりましたティーインググラウンドが、本年度よりA・Bクラス別に変更。あと1か月半で間に合うかと、大変焦りました。

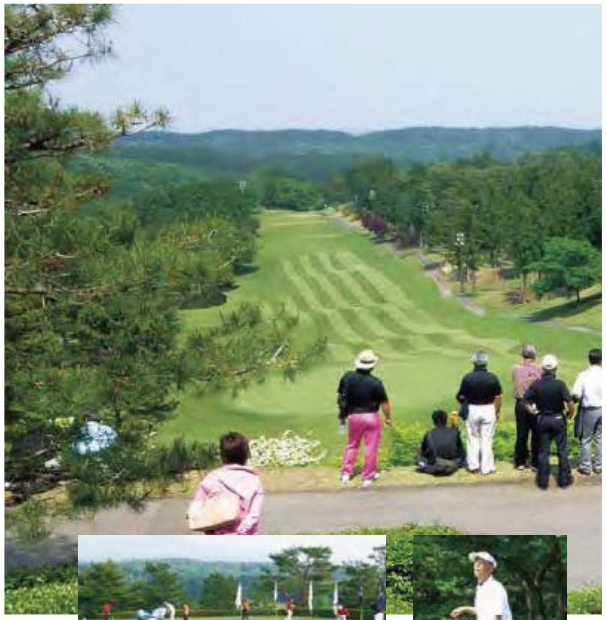
7時30分。微風快晴。AクラスとBクラスの代表選手が各倶楽部の期待を背負いスタート。

当倶楽部は開催コースの面目をかけ、首位予選通過を目指して、選手一同が練習に励んでまいりました。午後1時30分過ぎ頃よりマスター室前のスコアボードに選手、ゴルフ場関係者、ギャラリーの皆様が集まり、スコアが記載され始めると、いたるところで歓喜の声が上がり、一喜一憂していました。

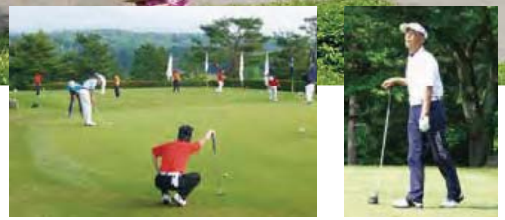
我が矢板カントリークラブは、最終組のスコアが記載されると塩原カントリークラブと同スコアの3位タイ。7番目の選手も同スコア。競技規定によりBクラスのベストスコアで、塩原カントリークラブが73ストローク。矢板カントリークラブは74ストロークで1打およばず第4位。かろうじて予選通過。玄関でお見送りする当倶楽部の各選手には、悔しさのなかにも安堵の表情が見られました。

競技を通じて、いろいろなことを勉強・経験させて頂きました。競技もきなトラブルもなく、無事終えることができました。この経験を活かし、ご来場のお客様にベストなコンディションを提供し、ご満足頂けるよう従業員一同さらに努力してまいります。

最後になりますが、増田競技担当委員長、KGA競技委員の皆様、打ち合わせから競技終了までの運営に対して、深く敬意と御礼を申し上げます。そしてサポートしていただいた矢板カントリークラブの会員の皆様に、心よりお礼申し上げます。（矢板カントリークラブ支配人・阿久津秀二）



ギャラリーテントは祭典の楽しさも。



左から。矢板CCの野中運営委員、矢板ＣＣキャプテンの高野理事、井上大会会長。

矢板CCの選手と会員総出でお見送り。

スコアボード前は悲喜こもごも。

矢板CCの選手と応援の食堂スタッフ。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月22日（水）参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

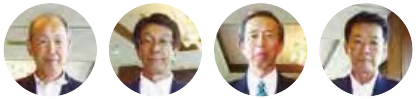
1位　鷹ゴルフ倶楽部／452

2位　烏山城カントリークラブ／454

3位　塩原カントリークラブ／456

4位　矢板カントリークラブ／456

ベストスコア賞



左から。Aクラスの田村善二郎君（凰月）、大塚正雄君（関東国際）、渡辺勝秀君（烏山城）、西田哲三君（鷹）。
Bクラスの田所靖浩君（烏山城）。

DATA ●Aクラス6347yards・Par72／Bクラス6696yards・Par72

栃木第2会場予選

第5ブロック大会

鶴カンツリー倶楽部

中・西コース

スタッフ総出でバンカーの改修工事を完了

当倶楽部で、関東倶楽部対抗予選競技を開催するのは3回目でありますが、経験をしている従業員も少なくなっており、不安を抱えたなかでのスタートでした。

まず最優先に行ったのがバンカー工事でした。当倶楽部はバンカーの水はけが良くなかったため、大雨が降るとバンカー内の砂が流れてしまうような状況でした。

従業員一丸となり、また関係者の皆様に支えられ、なんとかバンカーの改修工事を終え、競技当日を迎えることができました。

競技当日は朝から快晴のなかで行われ、進行もスムーズで無事競技を終了できました。当倶楽部は地元開催ということで、初の予選通過を目指し健闘致しましたが、7位と予選通過はなりませんでした。

最後になりますが、鈴木競技担当委員長をはじめとするKGA競技委員の皆様の、ご尽力に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

（鶴カントリー倶楽部支配人・小林貞夫）

開催倶楽部、鶴CCの代表選手と関係者各位。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月23日(木)参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

1位　サンヒルズカントリークラブ／458

2位　那須小川ゴルフクラブ／462

3位　佐野ゴルフクラブ／464

4位　足利城ゴルフ倶楽部／469

森のコテージを想わせるギャラリーテント。

慎重にスコア確認。

篠崎大会会長の挨拶に続き、にぎやかな表彰パーティー。

DATA ●Aクラス6282yards・Par72／Bクラス6631yards・Par72

栃木第3会場予選

第4ブロック大会

大日向カントリー倶楽部 西・東コース

過去の競技開催実績を活かして無我夢中の準備

朝の練習から緊張のスタートへ。

関東倶楽部対抗栃木第3会場予選が、16倶楽部のご参加をいただき、当倶楽部西コースと東コースで開催されました。

大日向カントリー倶楽部は、昭和51年11月3日に開場し、今年で37年目を迎えます。昭和56年には三菱ギャラントーナメントが開催され、その後も数多くのツアートーナメントが開催された実績を持つ、チャンピオンコースです。関東倶楽部対抗は過去の長い歴史のなかでも開催実績がなく、由緒ある本競技をとにかく成功させるべく、スタッフ一同無我夢中で準備を進めてまいりました。

各参加倶楽部の選手の皆様に、存分に実力を発揮していただけるコースコンディションの提供と、スムーズな競技運営を目指しました。関係者の方々に多大なご協力とご指導をいただき、無事に競技当日を迎えることができました。

心配していた天候ですが、数日前までの雨予報を覆し、朝の気温16度、快晴と絶好のゴルフ日和のなか、競技開始となりました。

当倶楽部の昨年の成績は5位。今年は昨年の悔しさを晴らすべく、開催倶楽部の地の利を活かし、本年度より新設されたブロック大会進出へ向けて、キャプテンを中心に猛練習に励んだ1年でした。

各倶楽部の選手の皆様も、幾度となく練習ラウンドにご来場いただき、競技に臨む姿勢と情熱には開催倶楽部側としても深く感銘を受けました。改めて本競技の偉大さを実感させていただいたと同時に、選手の皆様によりご満足いただき、思い出に残る競技にしなければと、強い使命感を抱きました。

日中の最高気温は29度まで上昇し、強い日差しのなかでのラウンドとなりましたが、おおむね順調な進行となりました。ラウンドを終えた選手が次々とアテストを終え、スコアが70台の選手が続出となりました。

残念ながら当倶楽部は5位と、昨年と同順位となり上位進出を逃しましたが、開催倶楽部の重圧に耐え大健闘です。また来年に向け選手と倶楽部が力を合わせ、ブロック大会進出に向け取り組んでまいりたいと思います。

中島大会会長の挨拶で始まり、終始和やかな雰囲気の表彰式となり、無事に競技を終了することができました。同時刻、先ほどまでの快晴が嘘のように雷雨となりましたが、すべてのラウンドが終了した後で、ことなきを得ました。

本競技を通じ、当倶楽部といたしましても様々なことを学ぶことができ、大変貴重な経験をすることができました。KGA役員の皆様、栃木県ゴルフ場協議会役員の皆様、各参加倶楽部の皆様、当倶楽部理事長・競技委員長および当日応援に駆けつけて頂いたボランティアの皆様のご協力のもと、スムーズな運営ができましたことに、深く感謝申し上げます。今後もこのような競技が開催されるに相応しい倶楽部であり続けるために、従業員一同より一層努力してまいる所存でございます。（大日向カントリー倶楽部支配人・和久井透貴）

ボランティアミーティングでも気合いが入る。

左から。大日向CCの井田理事長、中島大会会長。

開催倶楽部、大日向CCの代表選手と関係者各位。

快適なギャラリーテントで応援にも力が入る。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月21日（火）参加倶楽部数16／通過倶楽部数4

1位　鹿沼カントリー倶楽部／456

2位　新バークレイカントリークラブ／461

3位　ディアレイクカントリー倶楽部／461

4位　皆川城カントリークラブ／462

DATA ●Aクラス6444yards・Par72／Bクラス6756yards・Par72

霞ヶ浦台地にある
林間コースは
バンカーが強敵！

茨城第1会場予選

第4ブロック大会

白帆カントリークラブ

悪天候でも各選手のひたむきなプレーに感動

平成25年5月20日、関東倶楽部対抗茨城第1会場予選競技が当倶楽部にて、平成4年以来21年ぶりに開催されました。

前回開催時のスタッフも数名いましたが大半が未経験で、この競技を成功させるために不安を抱えながらも、当日に向けてベストな状態でお迎えできるよう、スタッフ全員で準備を進めてきました。

特にコース整備は、参加倶楽部の代表選手が、持てる力を存分に発揮していただけるようなコンディション作りに、コース管理課スタッフ全員が、気を配りながらの作業を進めてきました。

運営については、昨年開催の金砂郷カントリークラブ様に、特に不安な点について相談させていただき、適切な助言をいただきまして感謝しております。

今年度よりブロック大会が新設され、予選通過が5倶楽部に広がりました。通過チャンスが多くなったせいか、3月に入ると早くも練習ラウンドに訪れる倶楽部もあり、指定練習日を含め5回以上の、練習ラウンドをされたのが5倶楽部ありました。大半の倶楽部のチームが3～4回は訪れ、改めてこの倶楽部対抗戦に対する、各倶楽部の熱い思いを実感しました。

競技当日、朝のコースチェックから戻られた大木競技担当委員長より「仕上がり状態に感動しました」とのお褒めの言葉をいただき、一同胸をなでおろしました。これもキーパーを中心として、この日を目標としてコースコンディションの整備に、一生懸命務めてきたことが報われたものと思います。

残念だったのは当日の天候で、前日までの好天が嘘のよう。曇り空のもと、倶楽部対抗競技特有の雰囲気と緊張のなかで、倶楽部と応援団の期待と声援を受け、第1組がスタートしていきました。10時頃には雨が降り出し、午後になっても回復せず、雷雲も発生しました。競技担当委員長はトランシーバーを片手に雷情報をチェックしながら、現場の競技委員との情報交換に追われていました。幸いプレーを中断することもなく、競技は無事に終了することができました。

成績は茨城ゴルフ倶楽部がこのような条件にも関わらず、455ストローク（平均75・8）で、2位に19打の差をつけて圧勝。ベストスコア賞もA・Bともに同倶楽部の選手が獲得し、優勝に華を添えました。2位から5位までは4打差のなかに、4チームが入るという接戦でした。当倶楽部の選手もブロック大会出場を目指し、地の利を活かして練習を重ねてきましたが、プレッシャーもあったのか、3打およばず7位で残念な結果になりました。ホスト倶楽部として頑張っていただきまして、お疲れさまでした。また来年の予選通過を目指し、頑張っていきましょう。

スタッフの一人が次のような感想を述べてくれました。

「選手の皆様は悪天候をものともせず、ひたむきにプレーされており、感動を覚えました。当倶楽部チームは研修会の回数を増やし、ブロック大会出場を目指しましたが、惜しくも入賞を逃しました。けれどもスタッフの一人として、この競技の開催を通じてスタッフ全員が同じ目的を持ち、協力し合うことで達成できる喜びを感じることができ、有意義な1日となりました」

今回、開催倶楽部として、従業員一同が向上と達成の喜びを得ることができました。多くのことを学ばせていただけたことを糧にし、今後もこの経験を活かし、皆様にご満足いただけますような倶楽部運営に努力していく所存です。

最後に、本競技を無事に終了することができましたことにつき、打ち合せから競技終了までご指導いただきました大木競技担当委員長をはじめ、競技委員の皆様、参加倶楽部の選手ならびに関係者の皆様の、ご支援ご協力を深く感謝申し上げます。（白帆カントリークラブ支配人・櫻井忠久）

開催倶楽部、白帆CCの代表選手と関係者各位。

善戦健闘の白帆CC代表選手。

左から。白帆CC競技委員長の山田理事と白帆CC社長の鬼沢理事長。

ベストスコア賞

左から。
Aクラスの相馬聡夫君（茨城）、
Bクラスの千野英樹君（茨城）。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日(月)参加倶楽部数24／通過倶楽部数5

1位　茨城ゴルフ倶楽部／455

2位　セベ・バレステロスゴルフクラブ／474

3位　ニッソーカントリークラブ／475

4位　浅見カントリー倶楽部／478

5位　カントリークラブ・ザ・レイクス／478

DATA ●Aクラス6446yards・Par72／Bクラス6821yards・Par72

茨城第2会場予選

第5ブロック大会

セゴビアゴルフクラブ インチヨダ

事前準備と努力を重ね、スタッフにも一体感

スペインをモチーフにした個性的なホールが連続。難易度は極めて高い。

朝5時、早朝から選手そして関係者の車が、続々と駐車場に入ってまいりました。

開催当日は前日の荒天から一転、風は吹いていたものの晴天に恵まれて、各選手は朝食を摂ったり、念入りにストレッチや練習をし、7時30分、定刻どおり順調にスタートされました。

スタートホールでは、緊張気味の選手たちを目にする場面があったものの、各応援団の温かい声援とリラックスさせる雰囲気により、選手たちのプレーをバックアップ。そこから生まれるナイスショットには、プロトーナメントのような歓声と拍手で、盛り上がりを見せていました。そこには個人の戦いだけではない、チーム戦という緊張感と一体感が、共存していたように思います。

本競技の開催に向けては、当倶楽部スタッフも不備のないよう、各部署と事前打ち合せをし、必要と思われる準備と努力を重ねてまいりました。結果、無事競技が終了し、今まで以上にチームワーク、相互努力の大切さ、重要さを経験させていただきました。（セゴビアゴルフクラブ インチヨダ セールス・酒井克彦）

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月21日（火）参加倶楽部数23／通過倶楽部数5

1位　大利根カントリークラブ／457

2位　セゴビアゴルフクラブ イン チヨダ／460

3位　江戸崎カントリー倶楽部／461

4位　サニーフィールドゴルフ倶楽部／467

5位　土浦カントリー倶楽部／467

スペイン風クラブハウスの回廊にギャラリー席を設置。

朝食バイキングが好評。

スコア集計から成績の掲示は倶楽部対抗独特の熱気に溢れる。

DATA ●Aクラス6159yards・Par72／Bクラス6785yards・Par72

埼玉
第1会場
予選

第3ブロック大会

飯能グリーンカントリークラブ

個人の1打が団体戦の結果を左右する醍醐味

当日の朝は肌寒いくらいの気温でしたが、昼前から気温も上がり、午後は暑くなり選手の方々も水分補給しながらのプレーとなりました。

前回開催から11年ぶりの開催となり、当時の経験者は私を含め数人となっていましたが、前回の経験を参考に準備をしました。

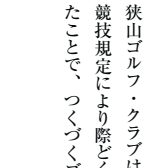
コース整備は4月の低温による生育不良と、5月の少雨（4月22日～5月27日の雨量49・8ミリ）による乾燥など、大変苦労しましたがグリーンをベストコンディションにすることができて安堵致しました。

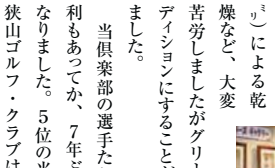
当倶楽部の選手たちも開催コースの利もあってか、7年ぶりの予選突破となりました。5位の当倶楽部と6位の狭山ゴルフ・クラブは同スコアでした。競技規定により際どく当倶楽部が勝ったことで、つくづくゴルフの1打の大切さ、それと団体競技の難しさを感じさせられました。

競技は今年からAクラス、Bクラスのティーインググラウンドが異なりましたが、特にトラブルもなく無事競技が終了致しました。

今回の競技が成功裡に終了することができましたのは、KGAの競技委員の方々ならびに事務局のご指導のお陰と、感謝申し上げます。そして今競技を支えていただきました関係者の皆様にも、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。（飯能グリーンカントリークラブ支配人・間庭康智）

飯能グリーンCCの関係者各位。





左から。髙橋大会会長、飯能グリーンCCの木川理事長。

ゴルフに関する貴重な品々を陳列。

Report

- 準備／グリーン低刈りのためのグリーンモアのセッティング。フェアウェイ・ラフに散布する肥料の選定。グリーク周りと池の整備（噴水設置）。
- 苦労／4月の低温による生育不良。遅霜による芝生の黄化。ベントグリーンの芽数が増えない。5月の乾燥（4/22～5/27、雨量49.8ミリ）。早出・残業による連日の散水（スプリンクラー・手撒き併用）。乾燥害箇所の改善作業（浸透剤などの散布）。
- コースセッティング／グリーン刈り高2.8ミリ、スピード11.5フィート、コンパクション11。ティーインググラウンド刈り高10ミリ。フェアウェイ刈り高12ミリ。ラフ刈り高60ミリ。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月27日（月）参加倶楽部数21／通過倶楽部数5

1位　嵐山カントリークラブ／456

2位　東松山カントリークラブ／461

3位　武蔵カントリークラブ／463

4位　浦和ゴルフ倶楽部／468

5位　飯能グリーンカントリークラブ／469

DATA ●Aクラス6473yards・Par72／Bクラス6917yards・Par72

埼玉 第2会場 予選

第3ブロック大会

日高カントリークラブ

東・西コース

練習ラウンドから気迫が溢れまずは予選通過へ

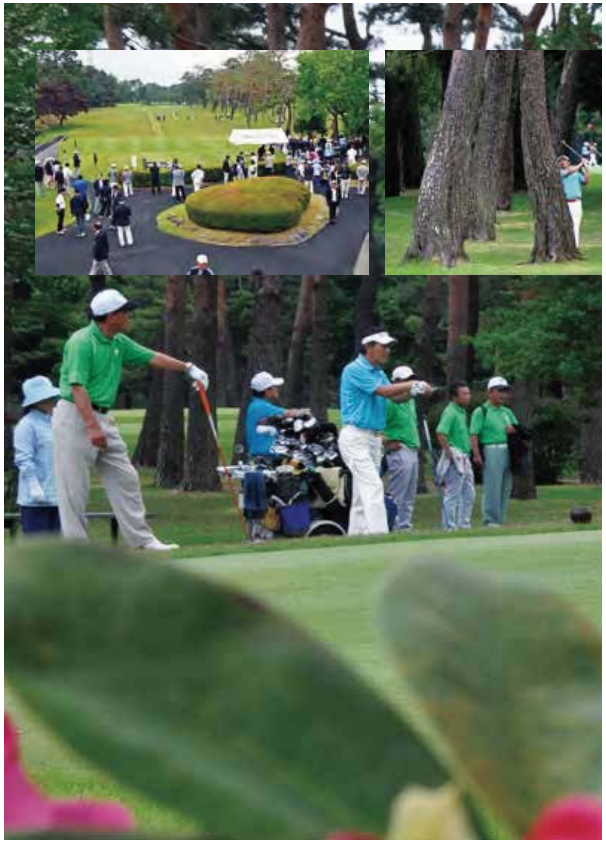
昨年の女子倶楽部対抗埼玉第2会場予選に続き、今年は関東倶楽部対抗埼玉第2会場予選を引き受けることになりました。今年度より予選と決勝の間にブロック大会が新設され、開催方式が一部変更となりました。このため参加倶楽部の選手候補の皆様は、練習ラウンドに幾度となく来場され、大変熱心に当コースの状況を確認しておりました。

今年もまた取り引き先のご好意により200台、日高市のご協力で100台分のギャラリー用駐車場をご提供いただき、場内を含め500台分の駐車スペースを用意し、選手、大会関係者、応援者の皆様をお迎えする準備が整いました。

当日は前夜からの雨は上がりましたが、しっとりした緊張感のなか、応援団に見送られ第1組がスタートして行きました。競技は白熱したプレーが展開され、各倶楽部とも選手がホールアウトするたびに、順位予想で一喜一憂。

競技結果は、霞ヶ関カンツリー倶楽部が第2位に10ストロークの大差をつけ見事優勝し、楽々ブロック大会へ進出。第2位は石坂ゴルフ倶楽部、第3位は鳩山カントリークラブ、第4位は廣済堂埼玉ゴルフ倶楽部で、めでたくブロック大会へ駒を進めました。

当倶楽部はホスト倶楽部としてのプレッシャーか、善戦しましたが惜しくも予選通過はなりませんでした。



高い樹木でセパレートされた美しい林間コースだがグリーンは難攻不落。

開催倶楽部、日高CCの代表選手と関係者各位。

高橋大会会長。

今競技が無事終了できましたことは、競技関係者の皆様、各参加倶楽部の選手および大勢の方々の、多大なるご指導とご協力によるものであり、改めて感謝申し上げます。（日高カントリークラブ支配人・平沼正史）

選手、ギャラリーを見送る日高CCテーム。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日(月)参加倶楽部数20／通過倶楽部数4

1位　霞ヶ関カンツリー倶楽部／475

2位　石坂ゴルフ倶楽部／485

3位　鳩山カントリークラブ／485

4位　廣済堂埼玉ゴルフ倶楽部／487

ベストスコア賞

左から。Aクラスの砂山武則君(越生)、吉川正憲君(熊谷)。Bクラスの諸戸清光君（霞ヶ関）。

DATA ●Aクラス6550yards・Par72／Bクラス6908yards・Par72

千葉
第1会場
予選

第4ブロック大会

浜野ゴルフクラブ

全スタッフ総出で連日のシミュレーションの成果

当倶楽部での関東倶楽部対抗予選競技は、平成19年以来6年ぶりの開催となります。

コース整備についてはグリーンキーパーを中心に、事務スタッフや食堂厨房スタッフも手伝いながら、この日に照準を合せて参加選手にご満足いただけるよう、準備を進めました。

また前回開催の経験を活かし、朝の受け付け方法、各倶楽部テントの準備、臨時駐車場のご案内や、より見やすい掲示ボードの設置、朝食の準備などの細部に至るまで、より良く、よりスムーズな運営方法を模索しながら、連日シミュレーションを重ね開催日を迎えました。

競技当日は朝から曇り空で、今にも雨が降りだしそうななか、22倶楽部176名の選手が定刻どおりスタート。多くのギャラリーが見守るなか、熱戦が繰り広げられました。

競技当日はグリーンスピード11フィートコンパクション11(山中式24)と、まずまずのコンディションで迎えることができました。風速3～4メートルの南風が終始吹き、心配していた雨も一時的に強く降ったものの、結果的にはプレーに影響するほどのこともなく終えることができました。

当倶楽部チームは地の利を活かして、5位入賞を目標に競技に臨みました。惜しくも5位との差は3ストロークの7位と、予選突破はなりませんでした。ホスト倶楽部として最後に、他倶楽部参加選手をお見送りする選手の姿には、来年へ向けての決意が感じられました。

最後になりますが、渡辺競技担当委員長をはじめ関東ゴルフ連盟関係の皆様、また当倶楽部での開催にあたりご尽力いただいた皆様のお蔭で、無事に終了することができました。心より御礼申し上げます。

(浜野ゴルフクラブ支配人・怒田和義)

開催倶楽部、浜野GCの代表選手と関係者各位。

大健闘の浜野GC代表選手の皆様。

ベストスコア賞

左から。
Aクラスの工藤洋史君(木更津)。
Bクラスの福田隆志君(東京湾)。

左から。浜野GCの山崎理事長と大塚競技委員長。

山崎理事長他浜野GC関係者でお見送り

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月30日(木)参加倶楽部数22／通過倶楽部数5

1位　木更津ゴルフクラブ／470

2位　富里ゴルフ倶楽部／474

3位　佐原カントリークラブ／474

4位　ブリック&ウッドクラブ／475

5位　東京湾カントリークラブ／476

DATA ●Aクラス6614yards・Par72／Bクラス6898yards・Par72

千葉第2会場予選

第5ブロック大会

スカイウェイカントリークラブ

初出場で初開催の重責。雷雨の中断も乗り切る

成田空港のお膝元、当地において開場35周年を迎える当倶楽部にとりまして、長年の悲願は関東倶楽部対抗に参戦することでした。ようやく名乗りを挙げたところ、なんと初出場にして、平成25年度関東倶楽部対抗千葉第2会場予選の、開催倶楽部に推挙されるという栄誉に預かることとなりました。

数か月におよび倶楽部全体が一丸となって準備を進めましたが、なにぶんにも出場の経験すらございません。KGAの皆様方にご指導を仰ぎ、またご経験豊富な他倶楽部の皆様よりアドバイスをいただきながら、ようやく開催日を迎えることができました。

週間天気予報に一喜一憂しながら祈る思いでしたが、当日は朝からあいにくの雨。しかし早朝6時前より続々と各倶楽部の選手団が来場され、テント村はお祭りムード。多くの倶楽部がテントに様々な工夫を施して雨よけを設置し、この競技を心待ちにされていた皆様の思いは、悪天候すらも楽しみに変えていらっしゃる様子でした。

定刻の7時半より、選手が続々とスタートして行きました。スタートホールのティーインググラウンドはたくさんのギャラリーと選手が、この競技ならではの緊張と集中を分かち合う神聖な空間です。手を振って出て行く選手たちの背中は誇らしげで、各倶楽部の代表として、この競技に出場できる喜びを感じさせてくれました。

さて当倶楽部の特徴は、なんと言っても千葉県屈指の難コースということです。ショットの精度、複雑なグリーンのアンジュレーションへの対応など、総合的な技術が必要とされるコースと言えます。特に指定練習日よりも数段速めに仕上がったグリーンは、選手たちの挑戦意欲をかき立てたことでしょう。各ホールでは「ナイスバーディー！」の声に、選手たちが手を上げて応える、この競技らしい光景が見られました。

途中、雷により1時間におよぶ競技中断を余儀なくされましたが、さすが各倶楽部を代表する強者たち。集中力が途切れることもなく、再開後も素晴らしいプレーで競技を盛り上げてくださり、日没前に全選手が無事にホールアウトできました。

厳しいコンディションのなかで上位入賞された、倶楽部の皆様にお祝いを申し上げます。また練習ラウンドから何度も足をお運びいただき、競技を盛り上げてくださった選手の皆様、ならびにご協力を賜りました各倶楽部関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

そして運営につきましては、不慣れな私たちをご指導くださった、鈴木競技担当委員長を始めとするKGAの皆様、この競技を通じて当倶楽部は、とても大切な勉強をさせていただきました。心より感謝申し上げるとともに、今後もこの素晴らしい関東倶楽部対抗の繁栄を、お祈り申し上げます。

（スカイウェイカントリークラブ取締役支配人・渡邉　進）

開催倶楽部、スカイウェイCCの代表選手と関係者各位。

生憎の天候でも熱い応援は続く。

ギャラリーテントは終日大賑わい。

２位から５位は大接戦。進出は果して。

左から。スカイウェイCCの齋藤取締役、坂本社長、渡邉支配人。

朝倉運営委員。

三輪運営委員。

雨中のボランティア活動。

岩瀬スカイウェイCC監督の発声で乾杯。

菅大会会長。

Green Keeper

自然の起伏を活かし フェアウェイの改良も実施中

スカイウェイCC・米岡辰美グリーンキーパー

上級者には難しいコースとの評判にお応えして、競技当日のグリーンは、納得していただけるコンディションに仕上がりました。またフェアウェイには細かいアンジュレーションがあり、大型機械ではなく小型モアで、手間をかけて刈っています。目の肥えたお客様が多いので、他に負けないよう、日々努力しています。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日(月)参加倶楽部数21／通過倶楽部数5

1位　船橋カントリー倶楽部／479

2位　千葉国際カントリークラブ／485

3位　成田東カントリークラブ／485

4位　万木城カントリークラブ／489

5位　京カントリークラブ／494

DATA ●Aクラス6367yards・Par72／Bクラス6566yards・Par72

ブロック大会進出倶楽部

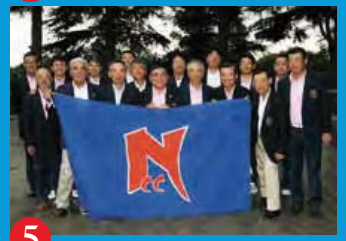
平成25年5月28日(火)参加倶楽部数21／通過倶楽部数5

1位　南総カントリークラブ／456

2位　鶴舞カントリー倶楽部／459

3位　真名カントリークラブ／462

4位　クリアビューゴルフクラブ&ホテル／465



5位　中山カントリークラブ／465

Fairway Voices

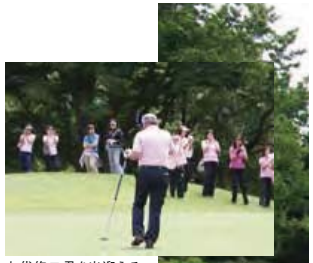
プレッシャーをバネに強豪勢に伍して予選突破！

中山CC顧問・古池伸吉

当倶楽部での開催はちょうど10年ぶりで、また巡ってきた倶楽部対抗でした。準備期間中も手落ちなく、なんとか成功に結びつけなくてはという思いでした。前回開催からスタッフも大分変ったことで、この大会が今後のクラブ史に、新たな1ページを刻む良い経験になったことと思われます。

当倶楽部代表チームも、地元ならではのプレッシャーと有利さを上手く融合させ、前回は予選落ちとなった雪辱を果たすことができました。

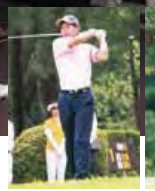
最終的に大きなトラブルもなく無事終了し、改めて今競技に関わった皆様に感謝を申し上げる次第です。

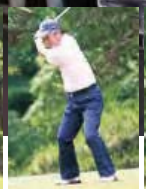


上代修二君を出迎える中山CCレディース応援団。

左上から右へ中山CCの代表選手。腰痛に負けず前半33という驚異的なスコアを叩き出した若きエース寺田憲児君、谷村朋昭君、吉野健治君、片山正八君、前田信吾君、小林正幸君、大塚稔君、上代修二君。

広々とした林間コースは
半世紀の歴史。
易しそうに見えるが実はタフ。





スタートホールはアウト、インが並行するので、常時大勢のギャラリー。

中山CCの吉野健治君は奥様が応援。

千葉第3会場予選

第5ブロック大会

中山カントリークラブ

10年ぶりの開催に新たな1ページを刻んで

5月28日の競技当日は、曇りの予報で迎えました。雲間を縫っておだやかに顔を出す太陽が、絶好のゴルフ日和になることを約束してくれました。ときおり吹き込むやさしい南風が、緊張の面持ちの選手たちを、やさしく包み込みながら独特の雰囲気を醸し出します。

練習に熱を入れる選手、仲間と笑い緊張をほぐす選手、それぞれスタートまでの時間を過ごしています。多くのギャラリーも駆けつけ、気がつけばあっという間に、会場は熱気に包まれました。

本番に向けてのコースメンテナンスや、会場の準備も万全の態勢で臨み、グリーンコンディションはスピード9・5（フィート）、コンパクション23という仕上がりで、皆様をお迎えできました。

7時30分、第1組がティーオフ。ティーショットを終えて、最高潮の緊張を味わった選手たちに向けて「ナイスショット」「大丈夫」「頑張れ」「転ぶなよ（笑）」と様々な声援が上がると、各選手とも様々に応答をしていました。

アウト・インが並行にスタートする中山カントリークラブでは、それぞれのスタートを移動なく目前で観戦できるため、常時100名近いギャラリーの声援を受けてスタートします。選手の緊張は、計り知れないものがあったのではないでしょうか。

試合展開では最終スコアがトップから10ストローク以内に8倶楽部がひしめく大混戦のなか、予選を制したのは456ストロークの南総カントリークラブで、我が中山カントリークラブも上代修二監督を筆頭に奮闘し、無事5位で予選通過を果たすことができました。

（中山カントリークラブ　フロアー部・齋藤　聡）

左から。渡邉大会会長、中山CCの角南コース委員長、比良田理事長。

ベストスコア賞

左から。
Aクラスの竹中悟君（南総）、
Bクラスの會田一君（鶴舞）。

DATA ●Aクラス6346yards・Par72／Bクラス6614yards・Par72

東京会場予選
第3ブロック大会

GMG八王子ゴルフ場

選手に最高の舞台をと14年ぶりの開催に一丸で

14年ぶりに当倶楽部で開催される、関東倶楽部対抗東京会場予選の朝を迎えました。心配された前日夕方からの激しい雨も未明には上がり、時々薄日のさす曇り空ではありましたが、気温は25度。風もなく、プレーヤーにとっては最高の気象条件となりました。

コース管理スタッフは4時30分よりコースへ。8台のグリーンモアが一斉に刈り込みを開始。3・0㍉のダブルカットで仕上げて行きました。

7時00分、すべてのコース作業が終了し、水越キーパーよりグリーンスピード10㌳と報告がありました。この日を迎えるため、フェアウェイの拡張、ティーインググラウンドの増設、グリーンの改造などを行ってまいりました。「ターフコンディションが最高の状態で、プレーしていただきたい」との、コース管理スタッフの熱意が、この日に結実しました。また2週間前からは、ハウス社員とキャディーが交代で、コース内の清掃を行いました。

キャディーは帯同キャディー28名、フォアキャディー30名が15か所に指名され、東川課長のもと連日ミーティングが行われました。

スタート時間が近づくにつれ、選手一人ひとりから緊張感がひしひしと伝わってきました。選手名のコールとともに大きな拍手。緊張のティーショット、ナイスショットの歓声とともに、たくさんのギャラリーに見守られながらスタートして行きます。

参加14倶楽部の頂点に立つのはどのチームか。ハーフターンでの選手の表情、同行している応援者からの情報に一喜一憂。ギャラリープラザの各倶楽部のテントは大賑わいでした。当倶楽部のテントでは女子研修会の皆様が、応援の方々の接待に当たって下さいました。

午後1時30分、トップの組がホールアウト。18ホールを戦い抜いた選手を迎えるため、クラブハウス前は大勢の応援者、ギャラリーで埋め尽くされました。

栄冠を勝ち得たのは多摩カントリークラブ。表彰式では粟生キャプテンが高らかにペナントを掲げました。

ブロック大会からさらに決勝進出を目指した当倶楽部でしたが、惜しくも4位となり、無念の涙を呑むことになってしまいました。

しかし、この競技を通じ選手の皆様、会員の皆様とスタッフが心を一つに、素晴らしい競技となったことを心から感謝申し上げます。

競技開催に当たり、ご指導ご協力を頂きました豊泉競技担当委員長はじめ、KGAの皆様、倶楽部役員の皆様に心から御礼申し上げ、競技報告と致します。（GMG八王子ゴルフ場支配人・田中真澄）

開催倶楽部、GMG八王子Gの代表選手と関係者各位。

左から。GMG八王子Gの森川理事長、佐藤大会会長。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日（月）参加倶楽部数14／通過倶楽部数3

1位　多摩カントリークラブ／450

2位　東京五日市カントリー倶楽部／453

3位　立川国際カントリー倶楽部／458

Green Keeper

スタッフの高い技術と情熱に支えられて

GMG 八王子ゴルフ場
水越英男グリーンキーパー

グリーン、ティーインググラウンド、フェアウェイ、ラフともに春の芽吹きから順調に生育し、病害の発生もなく、最高のターフコンディションで倶楽部対抗当日を迎えることができました。グリーンは固く、速く、しっかり打ち込まれたボールだけがグリーンで止まるように。芝目を極限まで抑え、傾斜だけのラインが出るよう、しかも10フィート前後で速くなりすぎないようコントロールしました。高い技術を持ったプレーヤーが良いスコアが出るように、倶楽部対抗に相応しいコースセッティングを心掛け、コース管理業務に当たりました。スタッフには、この経験を今後に活かしてもらいたいと思っています。

ベストスコア賞

左から。Aクラスの平山康則君(立川国際)、Bクラスの和田博君(東京五日市)。

DATA ●Aクラス6565yards・Par72／Bクラス6565yards・Par72

神奈川
会場予選
第3ブロック大会

チェックメイトカントリークラブ

初開催に手探りの準備。全スタッフ協力の成果

500メートルの山頂部から
富士山、駿河湾、相模湾を望む。
陽光に溢れる大景観。

当倶楽部として初めての関東倶楽部対抗予選開催であり、クラブハウス、コース管理とも手探り状態での設営準備のなか、やっとコースコンディションにもめどが立ち、あとは本番をむかえるだけと思った矢先、競技3日前より雨予報。以降、毎日変わる予報に一喜一憂する日々でありました。

当日は快晴とはなりませんでしたが、第1組が定刻にスタートしたときは、本当に安堵いたしました。晴れていれば富士山、駿河湾、相模湾を望む自慢の景色を、曇り空のため選手、ギャラリーの方々にご堪能いただけなかったのが残念です。

当倶楽部の順位は、開催コースの気負いのためか奮いませんでしたが、優勝された大厚木カントリークラブはもちろんのこと、予選通過の各倶楽部に敬意を表し、お慶び申し上げます。

末筆ではございますが、小池競技担当委員長をはじめ競技委員の方々のご尽力はもちろんのこと、出場選手をはじめ、応援の方々ならびに参加倶楽部のご協力に、深謝いたします。

（チェックメイトカントリークラブ支配人・藤島洋行）

10番スタートホール。

左から。チェックメイトCCの石関キャプテンと髙橋競技委員長。

18番グリーンからクラブハウスの威容。

チェックメイトCCの応援団の皆様。

開催倶楽部、チェックメイトCCの代表選手と関係者各位。

Green Keeper

前日の雨は残念ながら
選手の称賛にひと安心

チェックメイトCC・
富松和之グリーンキーパー

倶楽部対抗は東京カントリー倶楽部で10数年前に経験がありますが、その時のコンディションを上回るよう、職員一丸となりコース管理にあたりました。本年は4月下旬～5月初旬の低温のため、日本芝の発育が例年より悪く、そのなかでできる限り最善をつくしました。特にグリーンは前日の雨のため止まりやすくなり、若干速度も落ちましたが、選手の方々にお褒めの言葉をいただき、安堵いたしております。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月21日(火)参加倶楽部数25／通過倶楽部数5

1位　大厚木カントリークラブ／474

2位　津久井湖ゴルフ倶楽部／474

3位　大秦野カントリークラブ／475

4位　横浜カントリークラブ／476

5位　磯子カンツリークラブ／477

DATA ●Aクラス6699yards・Par72／Bクラス6699yards・Par72

静岡
会場予選
第2ブロック大会

大熱海国際ゴルフクラブ
大仁コース

静岡の激戦は傘の花がコースに彩りを添える

平成18年以来、7年ぶりとなる関東倶楽部対抗静岡会場予選に決定した時から、選手・職員一同張り切っておりました。

選手の皆様からは、熱海コース1番と18番ホールを特設練習場にし、芝から打てるようにしたことが大変好評だったようです。

朝食は選手および関係者400名が一度に食すということで、準備は時間との戦いでしたが、得意のバイキング形式を採用するなど、工夫を凝らして和洋食とも好評でした。

今回は23倶楽部の参加となり、あいにくの天候のなか、多数のギャラリーの方々が来場され、傘を差しながらの声援となりました。2階のテラスから見ると、いたる所に奇麗な傘の花が咲いていました。これも悪天候がもたらした副産物でした。

自慢の昼食カフェバイキングも好評で、待たずに好きなものを好きなだけ召し上がっていただけるので、思い思いのコンディション調整ができ、食後もゆっくりできたと選手の皆様からも好評でした。

戦況はブロック大会進出5位以内が接戦となり、各選手・ギャラリーが最後までスコアボードに釘付けでした。

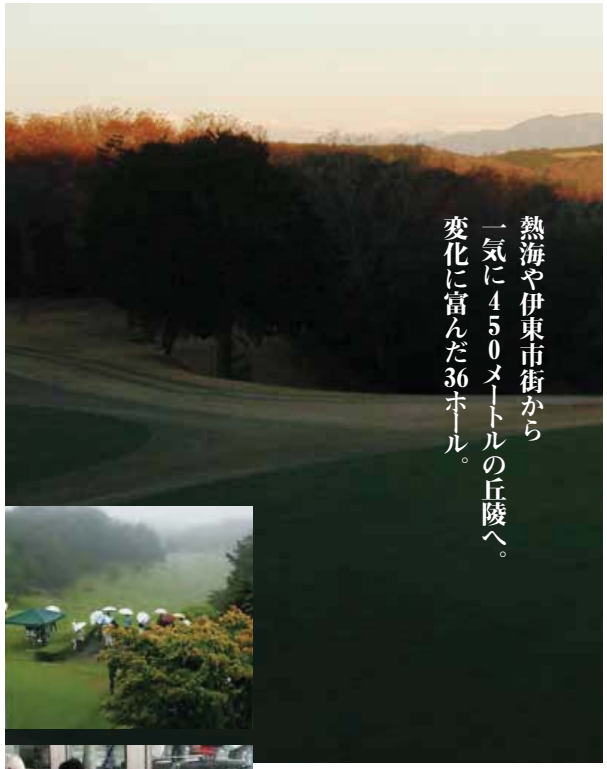
表彰式は通常立席ですが、36ホール対応ということもあり、レストラン会場も広く、23倶楽部すべての選手が着席しての表彰式は、皆さん驚いておられました。

なによりも大熱海国際ゴルフクラブがギリギリ5位で予選を通過し、ブロック大会へ進出を決めたことが職員の疲れを一掃させてくれ、選手・職員が一つになれた瞬間でした。

（大熱海国際ゴルフクラブ営業サービス部営業部長・提橋　顕）

朝食バイキングが大好評。

熱海や伊東市街から
一気に450メートルの丘陵へ。
変化に富んだ36ホール。



スコア提出が終って競技終了。

挨拶をする福田大会会長。

Green Keeper

上級者向けのコース設定で
リゾート風を払拭しました

大熱海国際GC・
石川富雄グリーンキーパー

写真右は本競技にご尽力いただいた前キーパーの岩井さん。

グリーンコンディションは刈り高2.9ミリ、コンパクションは13以上。スティンプメーターは11フィートに調整。競技2週間前にはすでにこの状態にありましたが、なんらかの原因で転がりスピードが落ちたので、グリーンモアの刈り高調整は、機械の限界の刈り高2.9ミリとしました。避けたかったローラーによる転圧を、下から打ったボールが戻ってくることがない程度にまで行いました。あるKGAの競技委員の方からは「ここまで仕上げてくるとは驚きました」と、お褒めの言葉を頂戴しました。

ブロック大会進出倶楽部

平成25年5月20日（月）参加倶楽部数23／通過倶楽部数5

1位　沼津ゴルフクラブ／458

2位　富士宮ゴルフクラブ／471

3位　函南ゴルフ倶楽部／476

4位　伊豆にらやまカントリークラブ／477

5位　大熱海国際ゴルフクラブ／477

DATA ●Aクラス6555yards・Par72／Bクラス6907yards・Par72●天候霧雨・気温20度・微風

決勝競技

大利根カントリークラブ 東コース

成田東CCが2度目の優勝。前回は涙、今回は笑顔

これぞオール関東倶楽部の祭典 青空に映える鮮やかなチームウェアの競演

真夏の快晴だったが、汗だくになる不快感ではない。利根川の川風も気持ちがいい。

関東女子倶楽部対抗決勝競技の開催された大利根カントリークラブ・東コースに、各都県予選競技から進出した43倶楽部の代表選手172名が集結した。大利根CCは今年で開場53年目、今春3月にはレディースティーが設置された。

成田東カントリークラブは一昨年に優勝、昨年は3打差で総武カントリークラブに惜敗。その総武CCは予選落ちで、下馬評では成田東CCが本命と目されていた。

成田東CCは初優勝してうれし泣き、昨年は惜敗で悔し泣き、今年はチーム全員が最初から最後まで、笑顔を絶やさなかった。結果は2位の東京湾カントリークラブに、9打差をつけての圧勝。その強さの秘密はどこにあるのだろう。

「代表選手のそれぞれが仕事を持ちながら、研修会で切磋琢磨して競争心を養い、技術を向上させています。チーム全員が親友同士で仲が良く、ただゴルフが好きなんです」とは、小川美重子キャプテンのコメント。勝因については全員が口を揃えて「チームワーク！」と即答した。

アウト・インどちらかで40ストロークを越えても、折り返せば片方の9ホールを30台でまとめている実力者たちだ。

ダントツの飛距離でいつも周りを圧倒する田中真弓（今年の日本女子シニアゴルフ選手権に優勝）は、さすが飛ばしの利点を活かし、73ストロークでホールアウト。成田東CCの先頭プレーヤーとしての役割りを果たした。

左から。東松苑GC、ノーザンCC錦ヶ原G、鹿沼CC、裾野CC、平塚富士見CC。

習志野CCの黒白モノトーンは意外にも目立った。

千葉CCは背中に大きく“手縫い”の刺繍。

メイプルポイントGCはジャック・バーニーのハイネックにキャロウェイのベルトがお揃い。

Team Ware Collection

ベストスコア賞

72ストロークでベストスコア賞を獲得した松尾律子さん（ギャツビイ）。

撮影／塚越克一（KGA広報副委員長）　大竹茂（KGA広報委員）取材／西田美千子（KGA広報委員）

関東女子倶楽部対抗決勝競技

平成25年8月26日(月)参加倶楽部数43／出場選手172名

優勝　成田東カントリークラブ／310

2位　東京湾カントリークラブ／319

3位　ニッソーカントリークラブ／321

4位　ギャツビイゴルフクラブ／323

5位　箱根カントリー倶楽部／323

倶楽部旗は親睦の象徴。参加することに意義あり。

決勝競技

黒のポロシャツの背中に手づくりのトンボのラインストーンを飾り、控えめに演出した成田東CCに対して、ひときわ鮮やかなオレンジ色のウェアで、注目されたのがギャツビイゴルフクラブだった。

ギャツビイGCは昨年の静岡プロック予選競技で敗退。今回は優勝の成田東CC、2位の東京湾CC、3位のニッソーカントリークラブ、5位の箱根カントリークラブとも、昨年のトップ10にランクインした強豪勢のなかにあって、堂々の4位入賞。

躍進の原動力は、チームの明るさかもしれない。ベストスコア賞を獲得した松尾律子を取材しようと待ち構えていると、ギャツビイGCの全員が祝福の輪になって集まってくれた。

「長身から繰り出すドライバーショットは、ドライビングコンテストがあれば負けないかも」「練習ラウンドができなかったのに、最初からベストスコア賞を狙うと言っていた」と、皆さんのコメントで取材は足りてしまう。前日の雨でラインが出ない、との声が多くの選手から上がるなかでの「72」ストロークは見事。そして来年は……。

ONE FOR ALL

平成25年度関東女子倶楽部対抗決勝競技に出場した全倶楽部。

右上6位から下へ順位順。

DATA ● 5931yards・Par72● 天候晴れ・気温28.8度・風向東・風速1.7m/s

新潟
会場予選

十日町カントリークラブ

つつじ・信濃コース

豪雪から記録的小雨へ。整備の困難を克服！

今年度の関東女子倶楽部対抗新潟会場予選は、15倶楽部が参加しての競技となりました。競技前は指定練習日以外でも多くのチームが練習に来られ、他チームの意気込みを感じ、当倶楽部の選手も念願の決勝競技出場を目指して、練習に励みました。

当倶楽部のある新潟県十日町市は豪雪地帯です。今年の冬の最大積雪量は4メートルとなりました。ブルトーザで除雪を行い、本年度のオープン日は4月27日でした。

雪解け後から今競技のために、鋭意準備を進めてまいりました。6月に入り記録的な少雨と、競技前は数日高温に見舞われ、コースコンディション維持に苦労致しました。

いよいよ競技当日を迎え、天候はフェーン現象となり、隣りの市では35・9度と、6月としては22年ぶりの猛暑日となるほどでした。幸いにも当コースは標高439メートルに位置し、そこまで気温は上がらずにすみましたが、この時期としては大変暑いなかでの競技となりました。

時折り太陽が陰ると、フェーン現象の南風も心地よく感じられながら、競技が進みました。

トップの組がホールアウトしてきて、早々に好スコアが続出。過去3年で2回の優勝を果たしている新発田城カントリー倶楽部を中心に、競技が進みました。また昨年度の競技でベストスコア賞を取っている田村選手（紫雲GC）が72ストロークで上がり、そのスコアを上回る選手が出るのかも興味があるところでした。

スコアボードの前では、各チームの合計スコアを計算する姿が見られ、最終組のスコアが書き込まれた時には、表彰式を前にして泣き笑いのドラマが展開していました。

結果、新発田城カントリー倶楽部と紫雲ゴルフ倶楽部が同スコアで並び、5人目の選手のスコアにより、新発田城カントリー倶楽部が見事優勝しました。

そして我がチームは、ホームコース開催のプレッシャーをはねのけ、地の利を活かし第3位となり、決勝に進むことができました。

高橋チームキャプテンのコメント。

「力不足の私たちが初の3位入賞をして、決勝競技へのキップを手に入れることができましたのは、地元の利を活かし、関東へ出場したいという選手一同の、強い思いからだと思います。応援してくれた皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです」

最後に、新潟県の女子倶楽部対抗が、さらに出場チームが増えて、ますます発展することをお祈り申し上げます。

（十日町カントリークラブ　キャディマスター・根津広幸）

決勝進出倶楽部

平成25年6月12日(水)参加倶楽部数15／予選通過倶楽部数3

1位　新発田城カントリー倶楽部／319

2位　紫雲ゴルフ倶楽部／319

3位　十日町カントリークラブ／331

挨拶する優勝倶楽部代表(左)と、齋藤大会会長。

長野会場予選

長野カントリークラブ

飯綱・戸隠コース

悪条件でも最高レベルを。結果は自信と満足感に。

飯綱山の南麓に展開する白樺、唐松に囲まれた名画のようなコース。

雪解けは早かったものの5月上旬の降霜、競技開催までの少雨と、野芝の生育はもう一歩のなかでの開催となりました。

競技開催には慣れてはおりましたが、長野カントリークラブでの競技ということで、選手の皆様はじめ競技関係者の期待度の高さを、練習ラウンドから当倶楽部職員は、ひしひしと感じての競技となりました。「レベルの低いものは提供できない」という意識のもと、コースコンディションづくりに、そして運営に、競技終了まで緊張感をもって臨めたことに、職員一同自信と満足感を感じております。

競技当日は台風の影響や、それに刺激された前線の活動が心配されましたが、幸いプレーには最適な爽やかな気候となり、選手の皆様が厳しい戦いのなかにも、楽しげにプレーされている姿が印象に残りました。

練習ラウンドを何回もこなし、その指定練習日にはアプローチの練習グリーンに、数チームの選手が揃いました。一心不乱に練習している姿には、ゴルフに対する謙虚な姿と、倶楽部代表としての責任感の強さを感じました。

定刻どおり第1組目がスタート。

競技終了後のパーティーでは、緊張感から解放された女性ならではの、華やかさやしなやかさが感じられ、充実した良い競技だったなと思った次第です。

結果は穂高カントリークラブが競技直前の選手変更があったものの、選手層の厚さから2位の長野カントリークラブに9打差をつけての圧勝。予選通過ラインは3位までしたが、中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部が1打の僅少差で入賞となりました。上位3チームには、決勝競技での活躍を切にお祈りいたします。

今競技開催に当たり、宮坂大会会長、竹村競技担当委員長をはじめ、競技委員、運営委員の皆様には大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして、あらためてお礼申し上げます。

この競技が末永く続き、女性のゴルフ競技がますます盛んになることをお祈りいたします。（長野カントリークラブ支配人・青木幹彦）

決勝進出倶楽部

平成25年6月14日(金)参加倶楽部数12／予選通過倶楽部数3

1位　穂高カントリークラブ／321

2位　長野カントリークラブ／330

3位　中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部

Green Keeper

難しいセッティングながらグリーンはスムーズな転がり

長野CC・小林省造グリーンキーパー

今年は降水量が少なく寒暖の差が激しかったので,芝との会話に苦労しました。長年課題にしているスズメノカタビラの除去も、ここ数年でようやく活路を見い出し、スムーズに転がるグリーンが実現しつつあります。

競技当日のコースセッティングは、難易度が高くハードに仕上がりましたが、決勝競技に出場される3チームには、この経験を活かして優勝を狙ってほしいと思います。

山梨
会場予選

秋山カントリークラブ

連日の乾燥と風のなか、懸命の作業で完璧に

異常気象なのか、気象庁の梅雨入り宣言以降はまったく雨が降らず、関東女子倶楽部対抗山梨会場予選の初開催を、6月4日に迎えました。

天候の心配が雨から乾燥に、また風も毎日のように吹き、ラフ、フェアウェイが非常に硬くなってしまいました。グリーンを含めて競技当日までに、ベストなコンディションで選手をお迎えできるか心配しておりましたが、コース管理課の懸命な作業により、競技を無事に迎えることができました。

グリーンの速さは9・3フィート、コンパクションはかなり硬め、全長5539ヤードの設定です。

当日は晴天に恵まれ気温22度、陽射しは強かったもののほどよい風が吹き、競技日和でした。緊張を隠せない選手の皆様が、スタート前の時間をすごしていました。各倶楽部関係者の方々が、8時のスタートを見送りました。

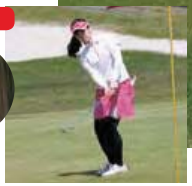
選手60名に加えて、多数の応援の皆様が来場されました。倶楽部対抗を通じて、倶楽部間の親睦が深められた1日になったと思います。

戦いを終えた表彰式会場は、倶楽部対抗ならではの雰囲気に包まれました。竹村競技担当委員長の成績発表、大会会長の志村KGA常務理事のお言葉を頂き、各倶楽部選手、競技委員、来賓の皆様とともに、和やかに表彰式を終了することができました。

関係各位様の、ご指導にお礼申し上げます。

（秋山カントリークラブ支配人・清水一男）

開催倶楽部、秋山CCの代表選手と清水支配人。



18番でベストスコア賞の小林さん。

ベストスコア賞

左から。平林治子さん(都留)、小林恵さん(甲斐駒)。

志村大会会長。

決勝進出倶楽部

平成25年6月4日(火)参加倶楽部数10／予選通過倶楽部数2

1位　メイプルポイントゴルフクラブ／319

2位　ヴィンテージゴルフ倶楽部／331

Green Keeper

春夏秋冬、毎日が努力と研究の積み重ね

秋山CC・伊藤孝司グリーンキーパー

競技当日に向けて、フェアウェイをダイヤモンドカットにしたのですが、雨が降らず目立たなかったのは残念です。山梨は四季の気候の変化の大きい土地柄。従ってベント芝の管理はマニュアル化ではなく、すべてが応用課題です。気象条件がどうあれ、グリーンは均一なスピードと硬さ、発色を出すため、日々努力の積み重ねです。グリーンはもとよりフェアウェイもティーも、一定の基準を守っています。ベストな状態で山梨県代表選手の皆様をお迎えでき、うれしく思っています。

DATA ●5539yards・Par72●グリーンの速さ9.3フィート●天候晴れ・気温22度

群馬
会場予選

ベルエアカントリークラブ

雷雨を払い全組が終了、華麗で厳しい戦いに感動

爽快な高原リゾート風コース。
池、樹木が美観を高め、
同時に戦略的効果も。

終了後も華やかな交歓。

朝のパッティング練習。

開催倶楽部、ベルエアCCの代表選手と関係者各位。

平成25年6月7日、梅雨空のもと関東女子倶楽部対抗群馬会場予選が、当倶楽部にて開催されました。前日からの雨予報に天候も心配されましたが、時折り小雨が降るなかでの開催となりました。

女性の競技ということで選手のウェアも鮮やかで、曇り空も吹き飛ばすほど、とても華やかにティーオフの時間を迎えました。各選手、緊張感漂うなか、ティーショットを放っていく姿を見て、まずはこの日を無事に迎えられて良かったと、安堵したところでございました。

本競技の開催に向けて、選手の皆様に気持ち良くプレーしていただくため、また、お力を十分に発揮していただくため全社員一丸となり、コースコンディションを万全に、準備を進めてまいりました。

夕方には雷をともなう雨が降り、無線連絡も慌ただしく心配されましたが、競技委員各位の迅速な進行により、最終組までスムーズにホールアウトすることができました。

結果は3位の鳳凰ゴルフ倶楽部に、4位の藤岡ゴルフクラブが1打差に迫るという大混戦となりました。最後の選手のスコアがボードに書き込まれた瞬間には「1打差だよー!」などと声が上がり、とても印象的なシーンとなりました。

この混戦を制し、決勝競技へ出場される3倶楽部の皆様におかれましては、さらに団結して奮闘されますよう、ご健勝をお祈り致します。また今回は予選通過されなかった倶楽部の皆様も「来年こそは!」と気持ちを新たにしていただきたいと思います。

当ベルエアカントリークラブは惜しくも5位という結果に終わりましたが、ホームコースでの開催ということで、チームワークをより一層深めることができました。

本競技ではたくさんのギャラリーの方、また倶楽部関係者の方々にご来場いただきました。各倶楽部の応援も熱気を帯びて、選手の活躍に一喜一憂され、競技を大いに盛り上げていただいたように思います。

最後になりますが、競技関係者の皆様、参加倶楽部の大勢の方々の多大なるご指導とご協力を得て、本競技を無事に終了することができましたことに、心より感謝申し上げます。

(ベルエアカントリークラブ支配人・清水和久)

決勝進出倶楽部

平成25年6月7日(金)参加倶楽部数15／予選通過倶楽部数3

1位 白水ゴルフ倶楽部／315

2位 レーサムゴルフ&スパリゾート／325

3位 鳳凰ゴルフ倶楽部／326

ベストスコア賞

貫井大会会長から都丸美佐子さん(伊香保国際)に賞品の授与。

栃木
会場予選

東松苑ゴルフ倶楽部

応援団席や駐車場の確保に苦心。結果は順調

ドラマチックな舞台構成。
攻めるか守るかの決断を迫られ
技量を問わず楽しめる。

当倶楽部でのＫＧＡ主催競技の開催は、平成21年の関東倶楽部対抗栃木予選競技第２ブロックと、一昨年の関東シニアゴルフ選手権栃木第１ブロックの予選競技に続いて３度目となりました。

当日の天気予報では降雨の可能性もあるなか、終日まずまずの天候で、参加26倶楽部１３０名の選手の皆様が熱戦を繰り広げ、無事競技を終えることができました。

今回の運営に際し最も難儀した部分としては、４年前の男子倶楽部対抗と比較して参加倶楽部が多く、応援エリアと駐車台数の確保でした。

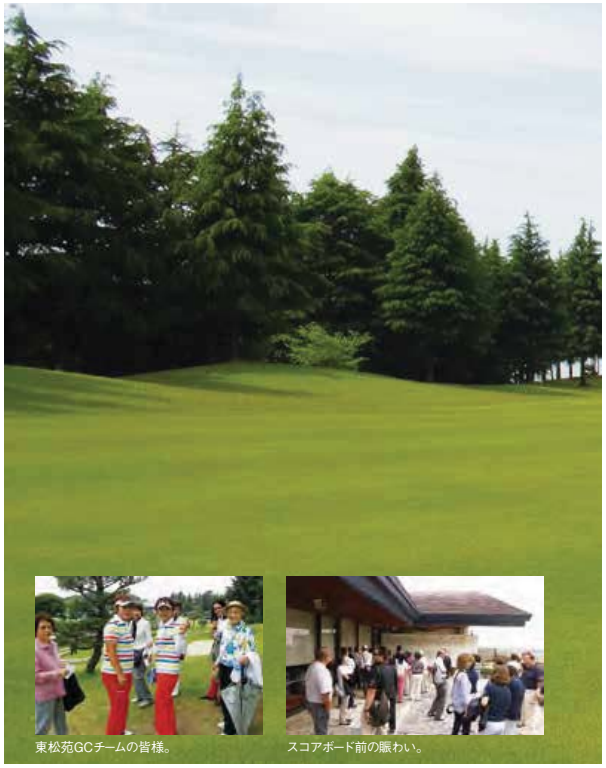
応援エリアについては９番ホール、18番ホールのグリーン周辺は26倶楽部の応援スペースを確保するのに十分な広さがありません。代わりにコンペルームを解放して、各倶楽部の応援席を設置させて頂きました。

また駐車場については、１倶楽部に対し５枚のパーキングカードを配布させて頂きました。カードのない車については場内の別エリアに駐車して頂き、送迎車にて対応させて頂きました。

参加倶楽部関係者や応援の方々にはご不便をお掛けしたことと思いますが、ご理解とご協力を頂きましたことを、この誌面をお借りし感謝申し上げたいと思います。

このたびＫＧＡ主催による倶楽部対抗の開催を通じ、会員の親睦と従業員のスキル、モチベーションアップに繋げることができましたことを感謝申し上げますとともに、篠崎大会会長、近藤競技担当委員長をはじめとするＫＧＡの皆様のご指導ご協力に対しましても、あわせて心より感謝を申し上げます。

（東松苑ゴルフ倶楽部支配人・中島和也）



東松苑GCチームの皆様。

スコアボード前の賑わい。

左から。東松苑GCの中島代表取締役、橋本理事長。

ベストスコア賞

左から。加藤仁美さん(塩原)、鯉沼良美さん(東松苑)、松山奈津江さん(鹿沼72)。

決勝進出倶楽部

平成25年6月6日(木)参加倶楽部数26／予選通過倶楽部数5

1位　芳賀カントリークラブ／311

2位　東松苑ゴルフ倶楽部／320

3位　皆川城カントリークラブ／327

4位　都賀カンツリー倶楽部／328

5位　鹿沼カントリー倶楽部／329